

岩見沢市生活交通ビジョン構想（案）策定資料

～住民ニーズ把握調査結果～



【委託者】 岩見沢市 企画財政部 企画室

【受託者】 日本データサービス株式会社

～ 1. 調査概要 ～

(1) 調査の目的

岩見沢市民を対象に地域公共交通に対する住民ニーズ把握アンケートを実施し、**買物・通院時の交通行動の実態やバスの利用状況、岩見沢市民が求める公共交通に対するニーズを把握し、利便性が高く将来的に維持可能な公共交通体系の検討に資する基礎資料の収集**を目的とする。

(2) 調査実施日

平成26年7月10日（木）～7月25日（金）

(3) 調査対象

岩見沢市に居住する15歳以上の市民を対象

(4) 調査方法

郵送配布・郵送回収

配布数：18,240票 回収数：3,773票（回収率20.7%）

※配布世帯数：10,000世帯 回収世帯数：2,545世帯（回収率25.5%）

～ 1. 調査概要 ～

(5) 調査項目

1) あなたご自身のことについてお答えください。

- (1) あなたのご自宅の住所をお聞かせください。
- (2) あなたの勤務・通学先の住所をお聞かせください。
- (3) 性別と年代についてお聞かせください。
- (4) 職業をお聞かせください。
- (5) 自動車免許、および自動車利用状況をお聞かせください。
- (6) 将来、自動車の運転が困難になった際の移動手段をお聞かせください。

2) あなたの交通行動についてお答えください。

- (1) 現在、岩見沢市内を運行している路線バス等が無くなると困りますか。
- (2) あなたのバスの利用頻度をお聞かせください。
- (3) 買物・通院時（食料品・日用品等）の交通行動についてお聞かせください。
 - 1) 買物・通院に行く際の主な利用交通手段（夏期・冬期それぞれ）をお聞かせください。
 - 2) 買物・通院に行く際にバスを利用しない理由をお聞かせください。
 - 3) 買物・通院に行く頻度をお聞かせください。
 - 4) 買物・通院に行く主な時間帯と買物先でのおおよその滞在時間をお聞かせください。
 - 5) 買物・通院でよく利用する場所をお聞かせください。

～ 1. 調査概要 ～

(5) 調査項目

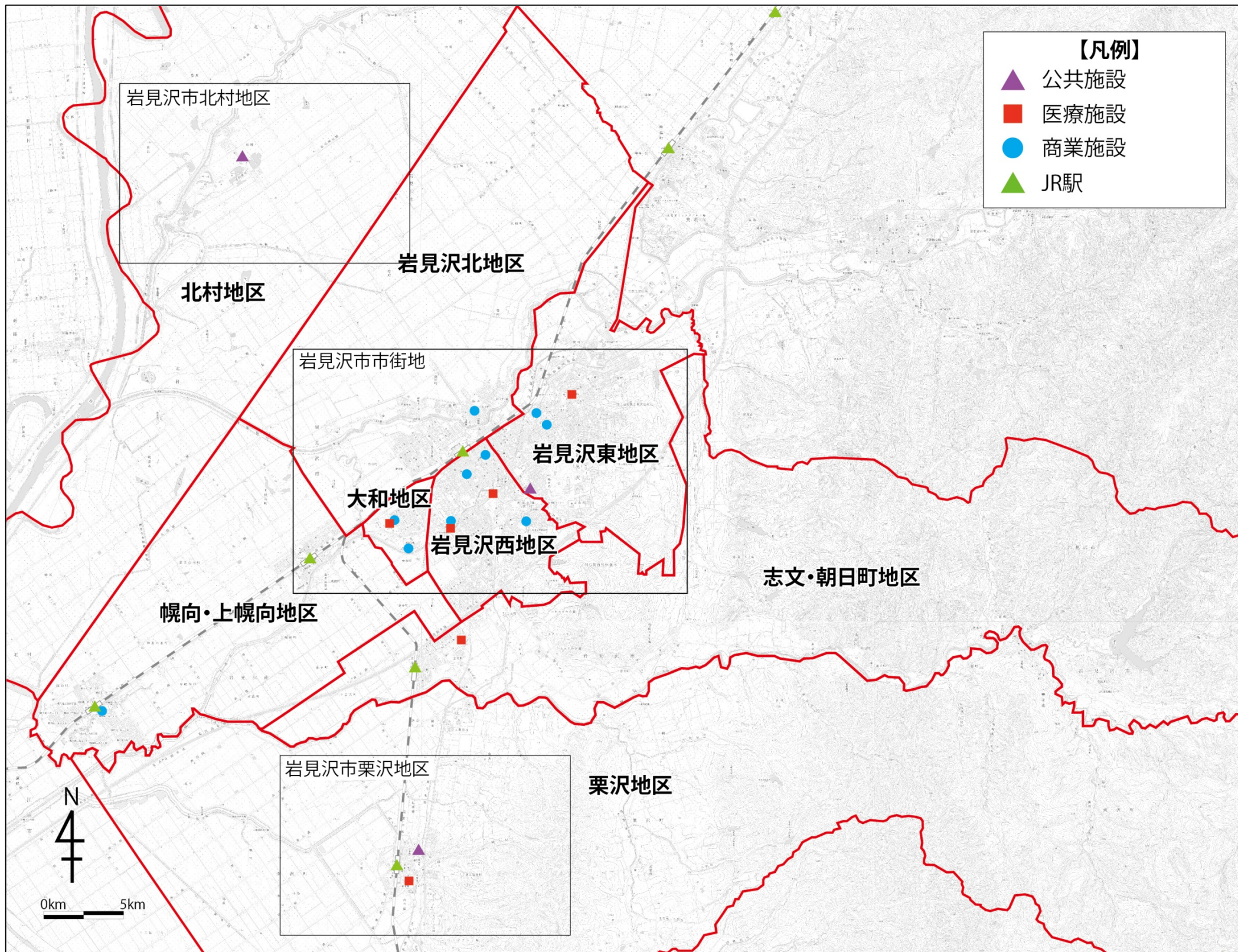
3) 岩見沢市のバス交通についてお聞かせください。

- (1) 岩見沢市内を運行するバスについて、「運行便数」、「始発便の運行時間帯」、「終発便の運行時間帯」、「運行ルート」、「運賃」、「JR、バスとの乗り継ぎ」、「総合満足度」について、満足・やや満足・普通・やや不満・不満でお答えください。
- (2) 上記でやや不満・不満に思われるバスサービスが改善された場合、バスの利用頻度は変化すると思いますか。
- (3) 岩見沢市のバスについて、導入して欲しいと考えるサービスをお答えください。

4) あなたの帰宅時の交通手段についてお答えください。

- (1) 通勤・通学時の交通手段を決めるとき、帰宅時にバスが運行しているかなどのバスの運行状況が影響していますか。
- (2) 上記の帰宅時のバスの運行状況が改善された場合、通勤・通学時の交通手段は変化しますか。

～ 2. 回答者自身について ～

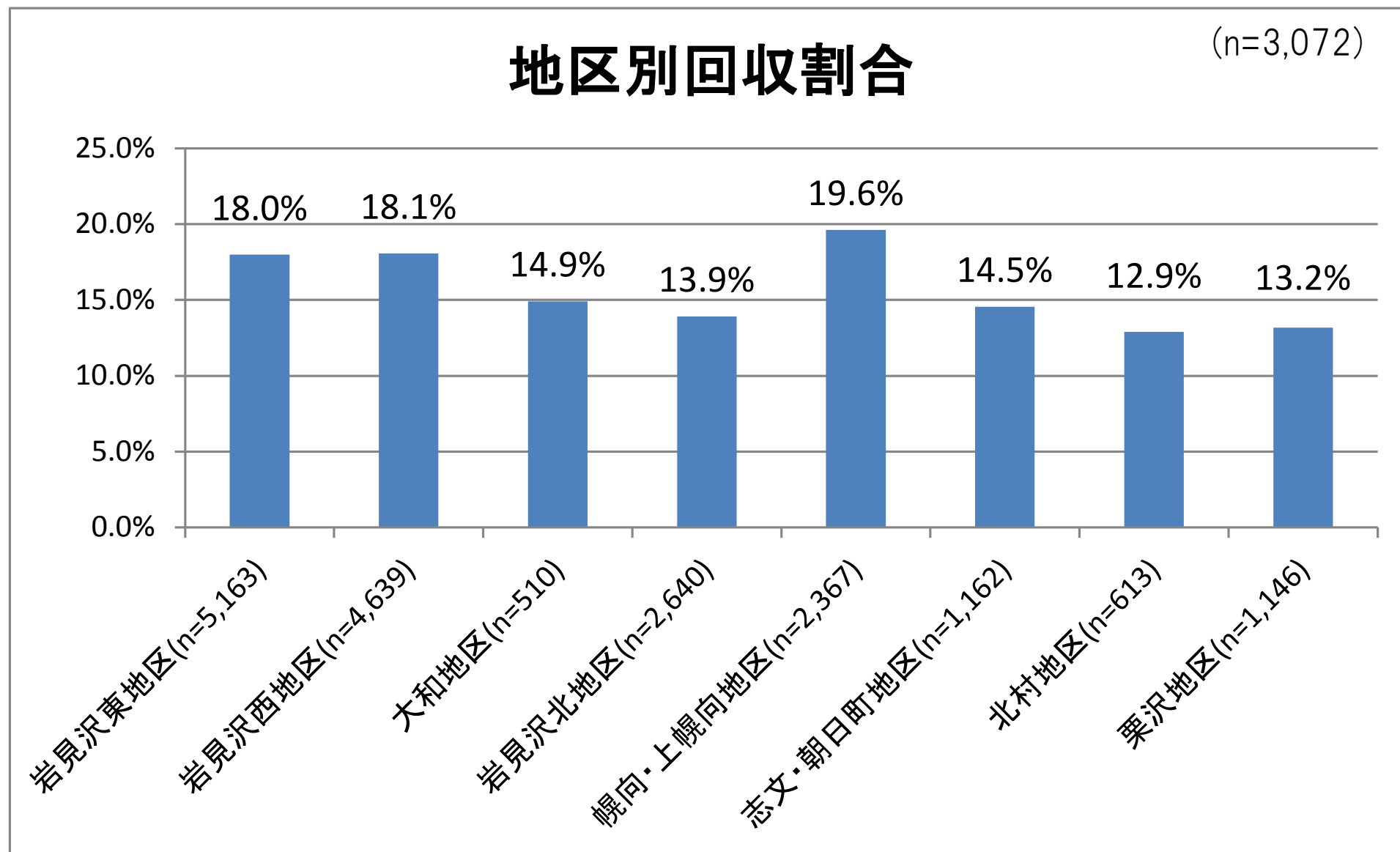


地区名	地域名
岩見沢東地区	東山町
	日の出町
	日の出南
	日の出北
	日の出台
	栄町
	東町
	鳩が丘
1～12条東	
岩見沢西地区	並木町
	美園
	南町
	大和町
	駒園
	緑が丘
	春日町
1～13条西	
岩見沢北地区	峰延町
	稔町
	桜木
	西川町
	有明町
	若松町
	北本町
	元町
北1～6条西	

図 ゾーン図

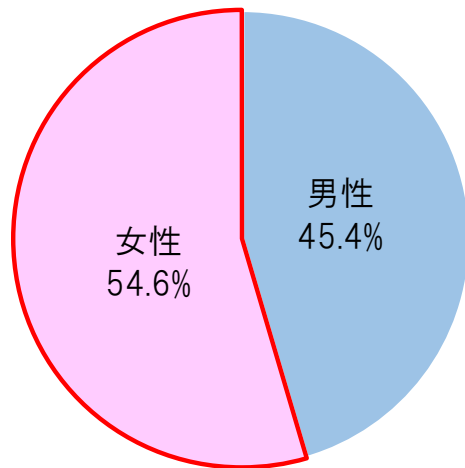
～ 2. 回答者自身について ～

◆地区別回収割合は、『岩見沢東地区』、『岩見沢西地区』、『幌向・上幌向地区』で約2割となっている。



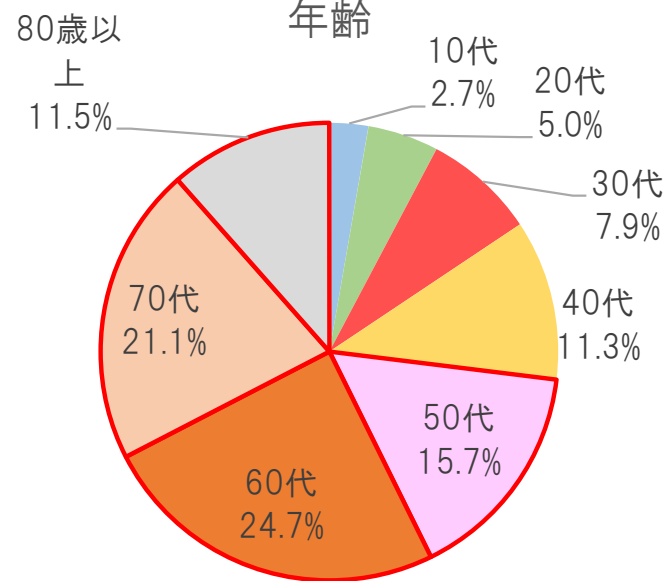
～ 2. 回答者自身について ～

性別



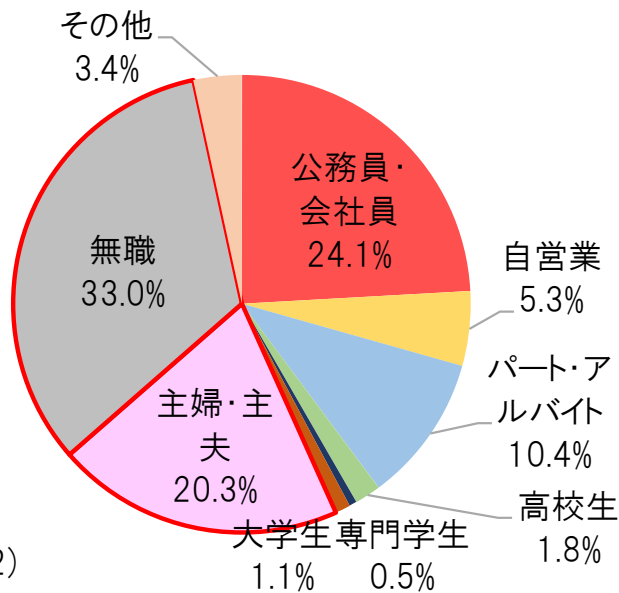
(n=3649)

年齢



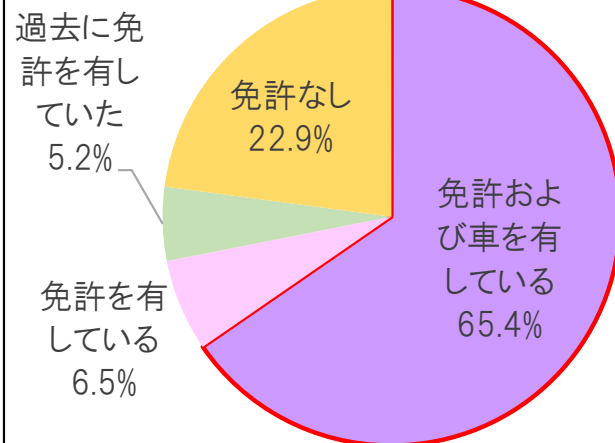
(n=3395)

職業



(n=3372)

免許と車



(n=3311)

◆性別は『男性』と比較し、『女性』が54.6%やや多くなっている。

◆年代は50代以上の回答で全体の約7割を占めている。

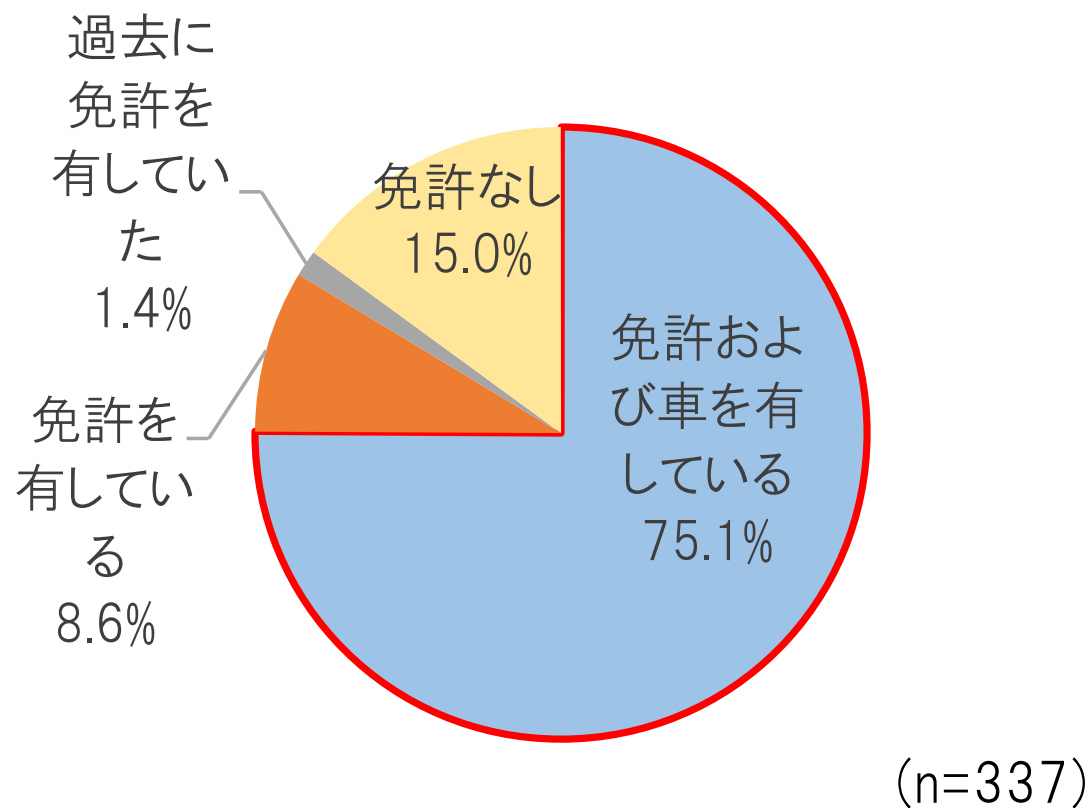
◆職業は、『無職』が約3割、『主婦・主夫』が約2割と多くなっている。

◆免許と車の保有状況は、『免許および車を有している』の回答が約7割となっている。

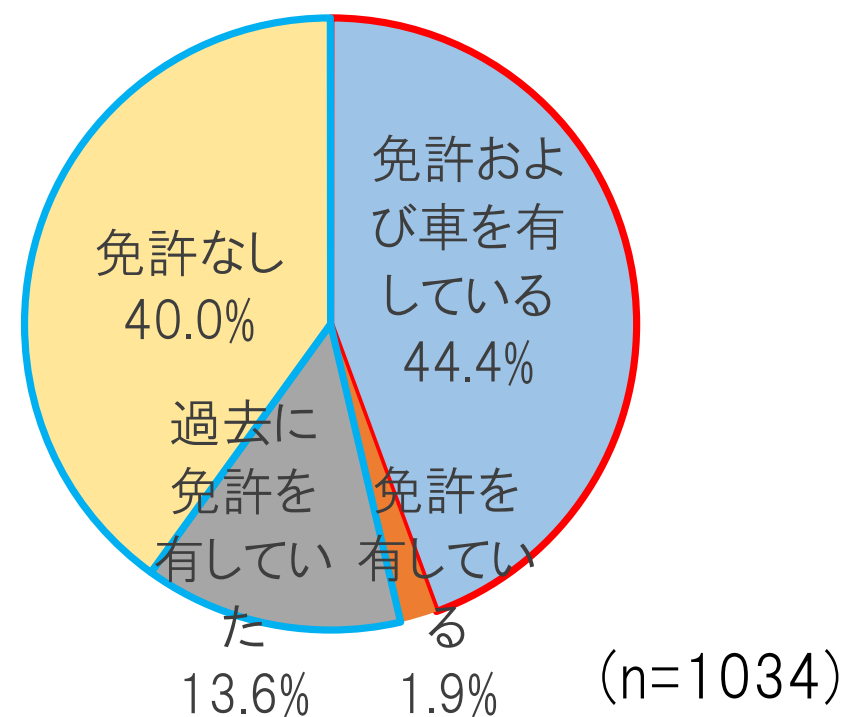
～ 2. 回答者自身について ～

- ◆免許および車の保有状況を『10～60代』と『70代以上』に分けてみると、『10～60代』は『免許および車を有している』が全体の約8割を占めており、多くなっている。
- ◆一方で、『70代以上』は『免許および車を有している』が全体の約4割であり、『免許なし』と『過去に免許を有していた』を合わせた回答が、5割以上を占めている。

10～60代の免許と車の保有状況

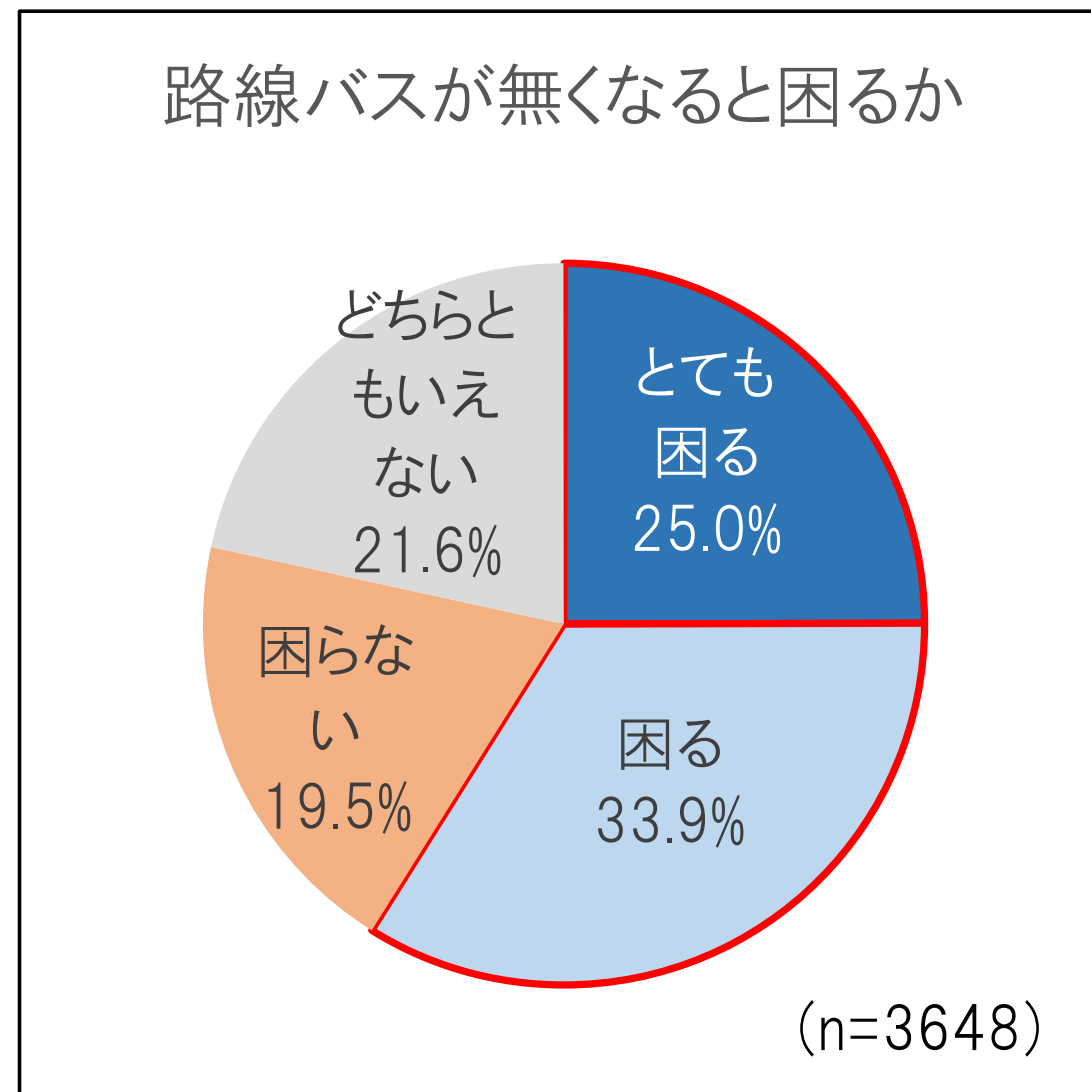
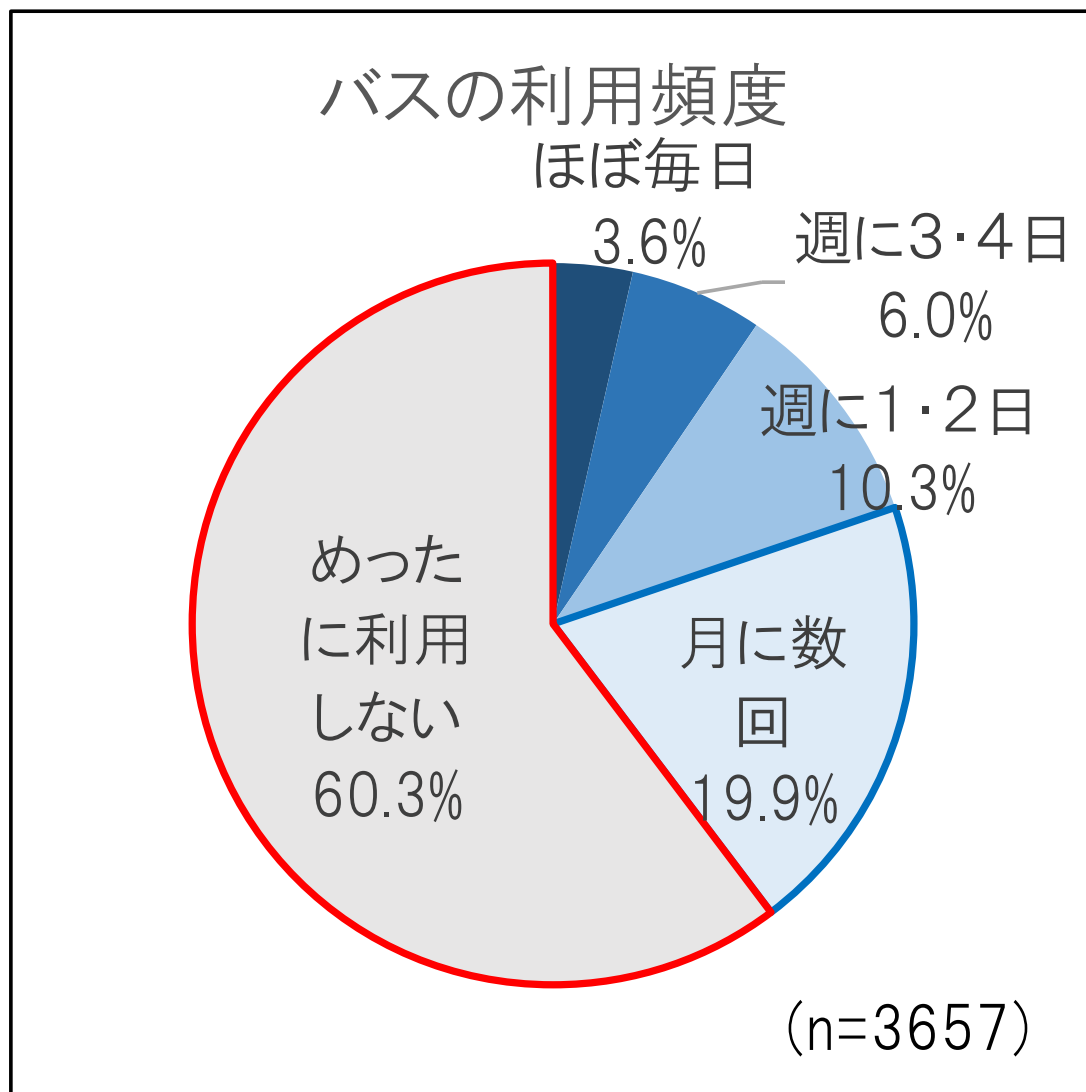


70代以上の免許と車の保有状況



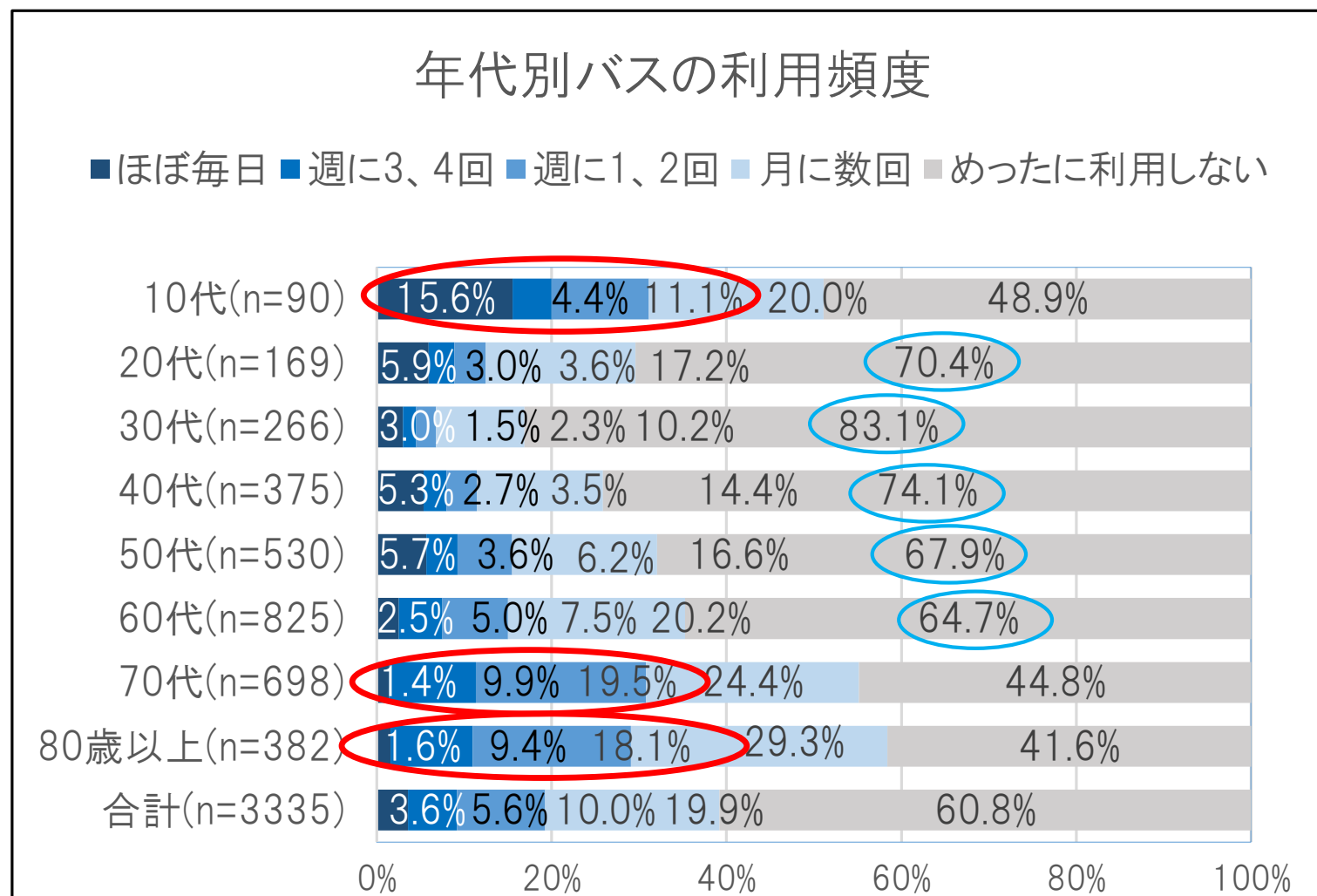
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

- ◆バスの利用頻度は、『めったに利用しない』の割合が約6割と最も多く、次いで『月に数回』が約2割となっている。
- ◆路線バスが無くなると困るかについては、『とても困る』、『困る』を合わせた回答が約6割を占めている。



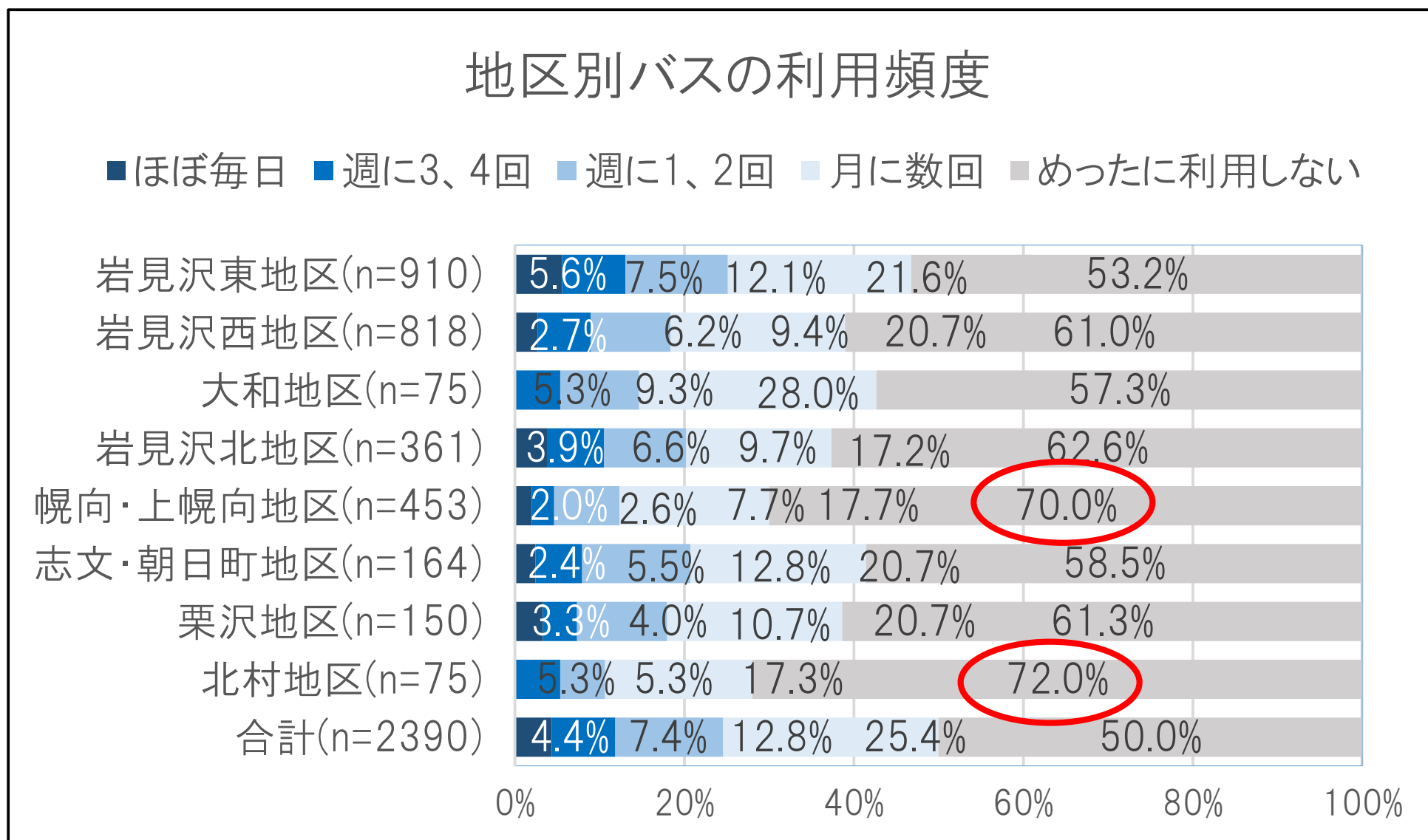
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

- ◆バスの利用頻度を年代別に見てみると、20代～60代は『めったに利用しない』が最も多くなっているが、自動車免許の保有率の低い70代以上や通学手段としてバスが必要と考えられる10代は利用頻度が高くなっている。
- ◆高齢になるほど、公共交通の利用頻度が高くなる傾向がみられる。



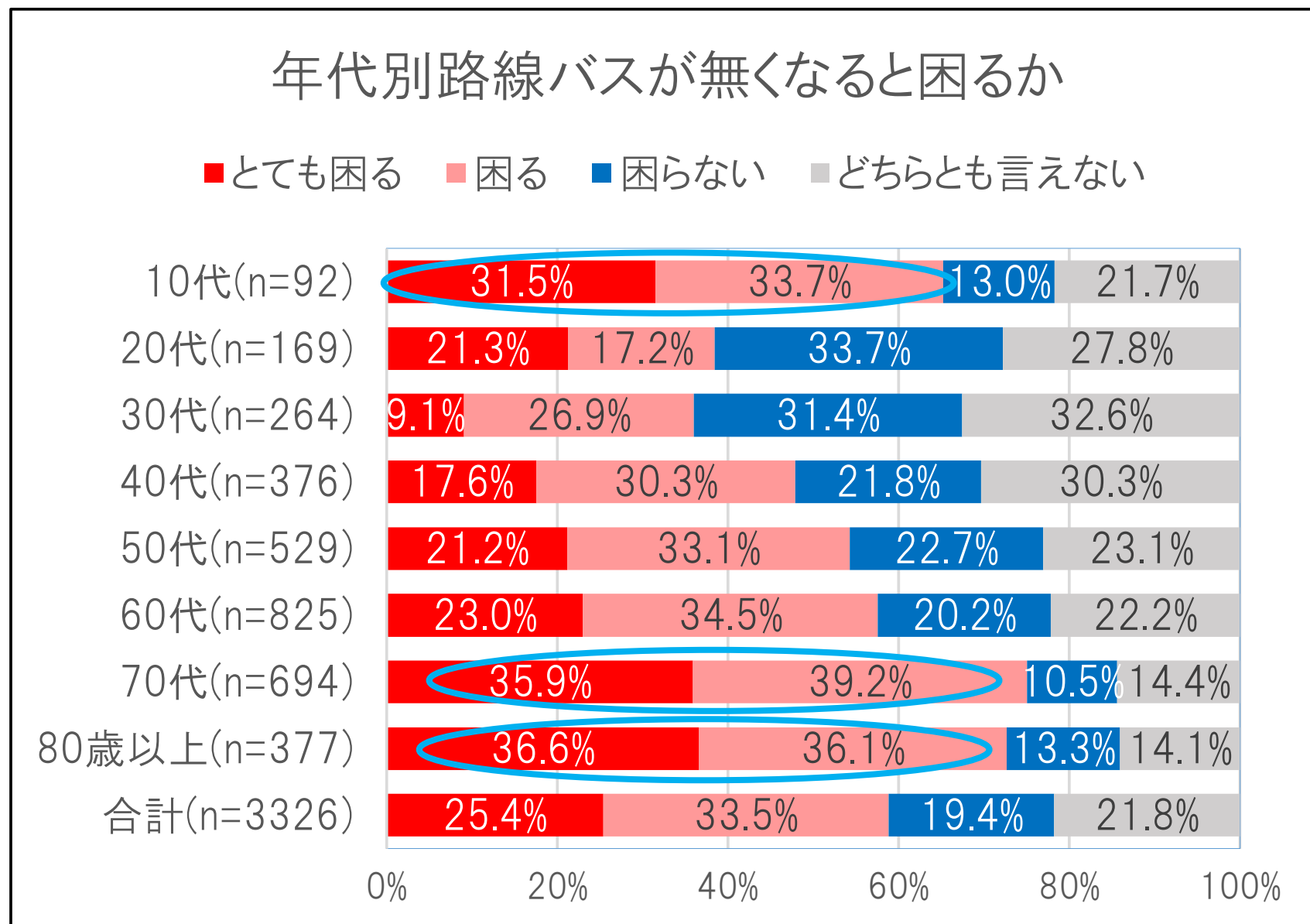
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

◆バスの利用頻度を地区別で見ると、**全地区で5割以上が『めったに利用しない』**と回答し、特に市街地までの直通便数が少ない**幌向・上幌向地区、北村地区**では、『めったに利用しない』が**7割以上**を占めている。



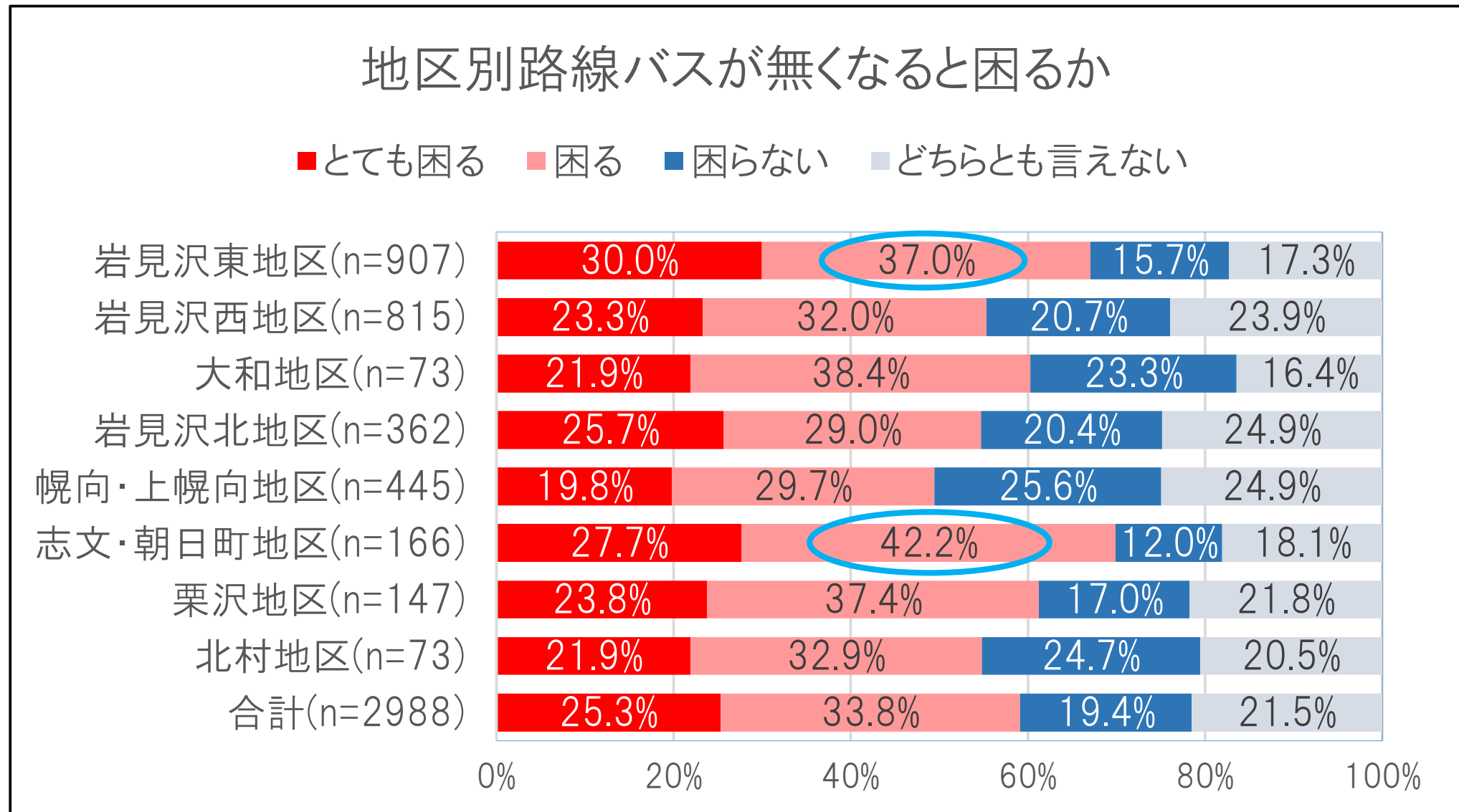
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

◆路線バスが無くなると困るかを年代別にみると、『とても困る』、『困る』を合わせた回答が、70代以上で7割以上、10代で6割以上と多くなっている。



～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

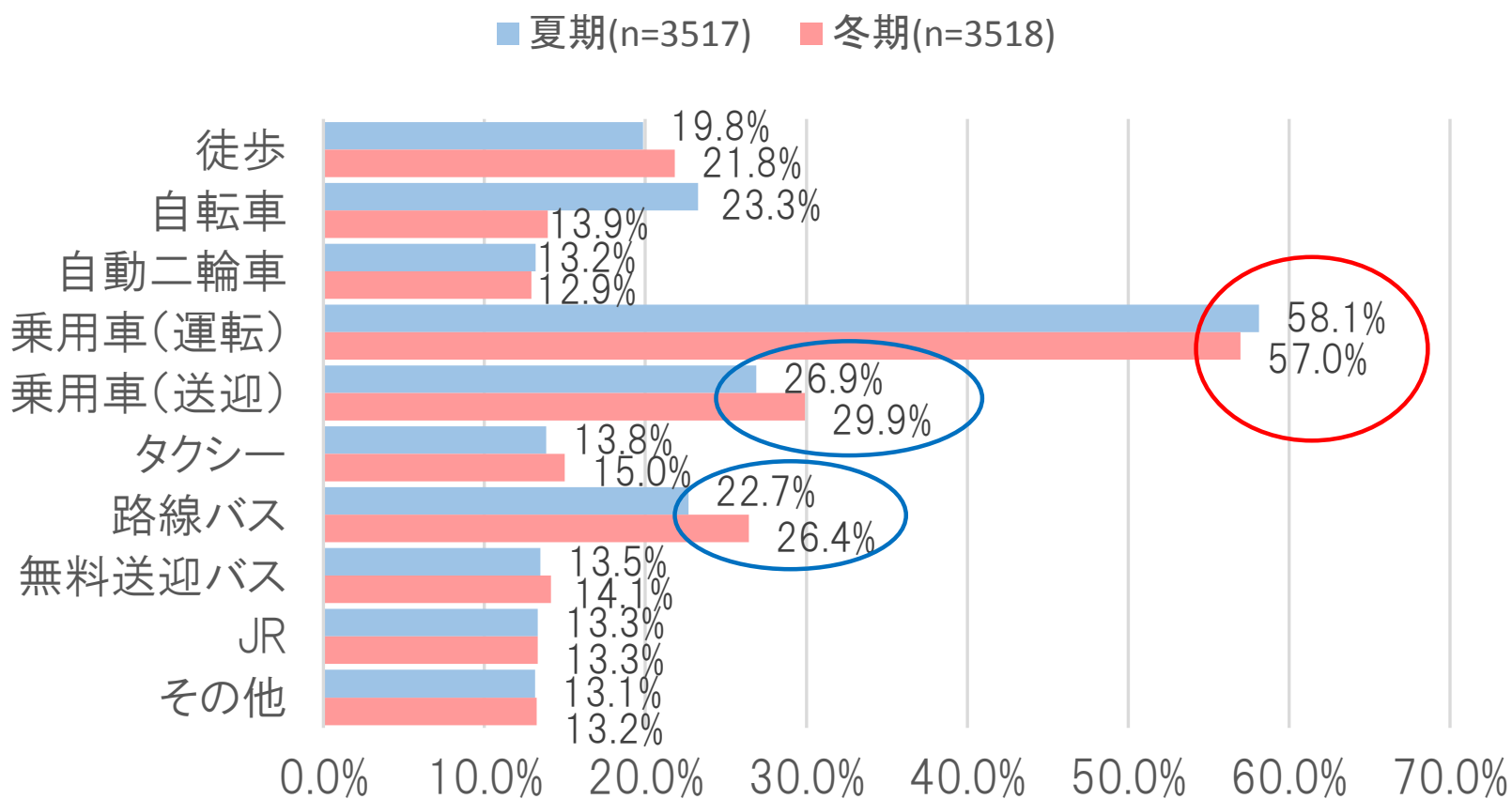
◆路線バスが無くなると困るかを地区別にみると、『とても困る』、『困る』を合わせた回答が、比較的岩見沢駅に近くバス路線が充実している、およびバス路線が少なく、JRが存在しない志文・宝水・朝日地区で約7割と多くなっている。



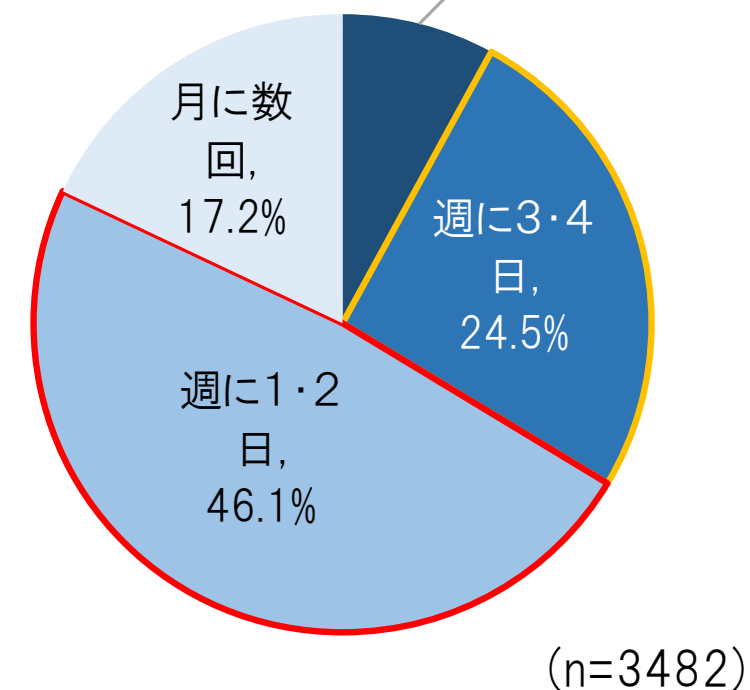
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

- ◆買い物時の交通手段は、**乗用車（運転）**が最も多く、約**6割**を占めている。次いで**乗用車（送迎）**、**路線バス**の順となっている。
- ◆買い物頻度は、『**週に1・2日**』が約**5割**と最も多く、次いで『**週に3・4日**』が約**3割**となっている。

買い物時の交通手段(複数回答)

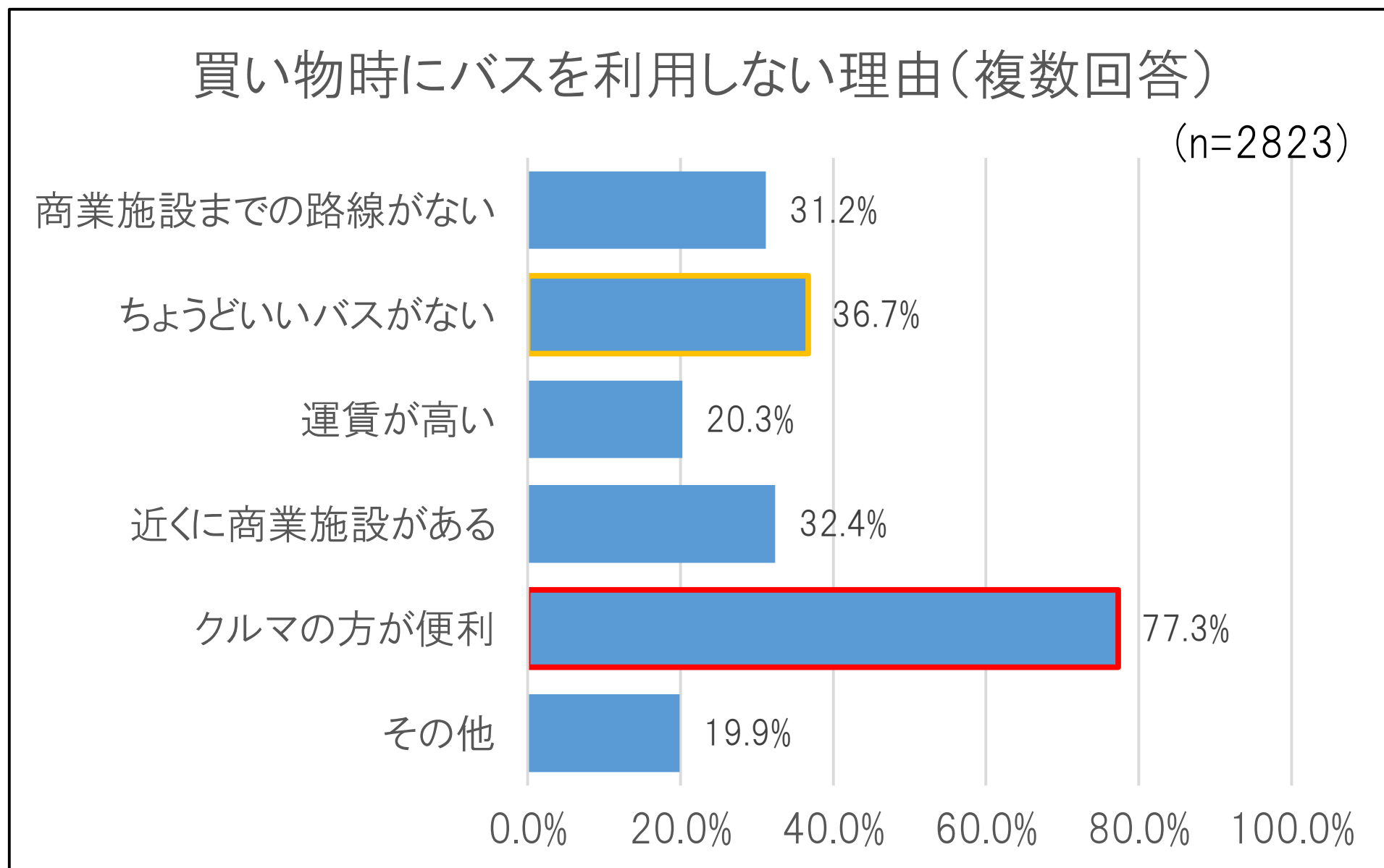


買い物頻度



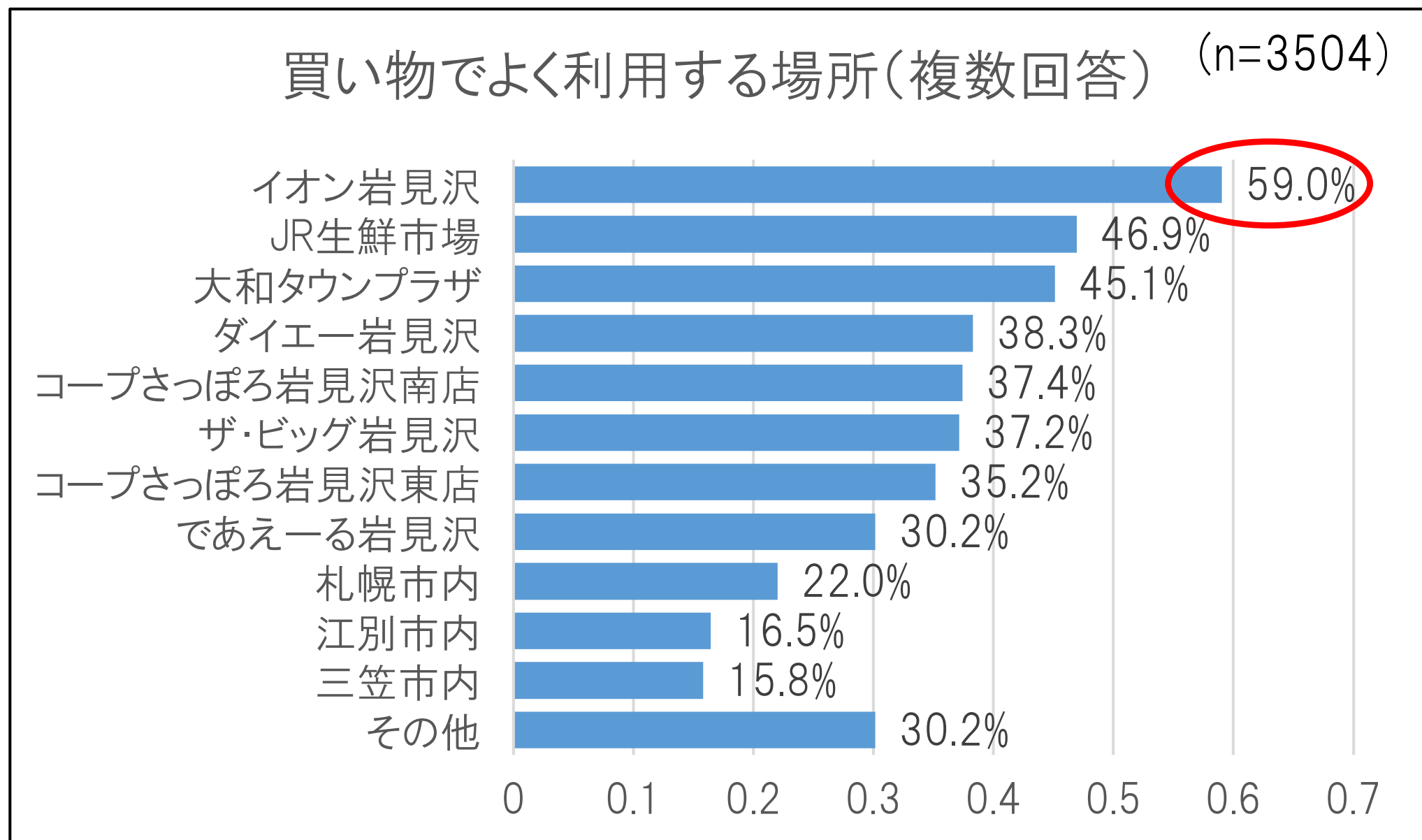
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

◆買い物時にバスを利用しない理由として、『クルマの方が便利』が約8割と最も多く、次いで『ちょうどいいバスがない』が多くなっている。



～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

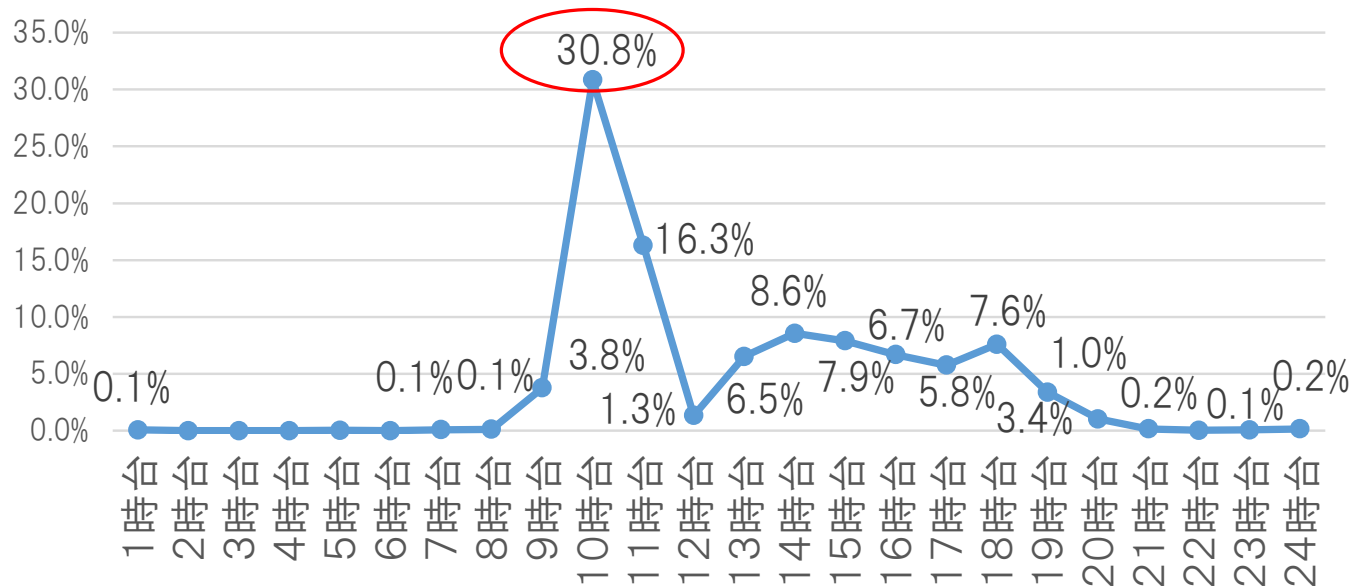
- ◆買い物でよく利用する場所では、『イオン岩見沢』が約6割で、最も多くなっている。
- ◆また、『JR生鮮市場』や『大和タウンプラザ』も多くなっている。



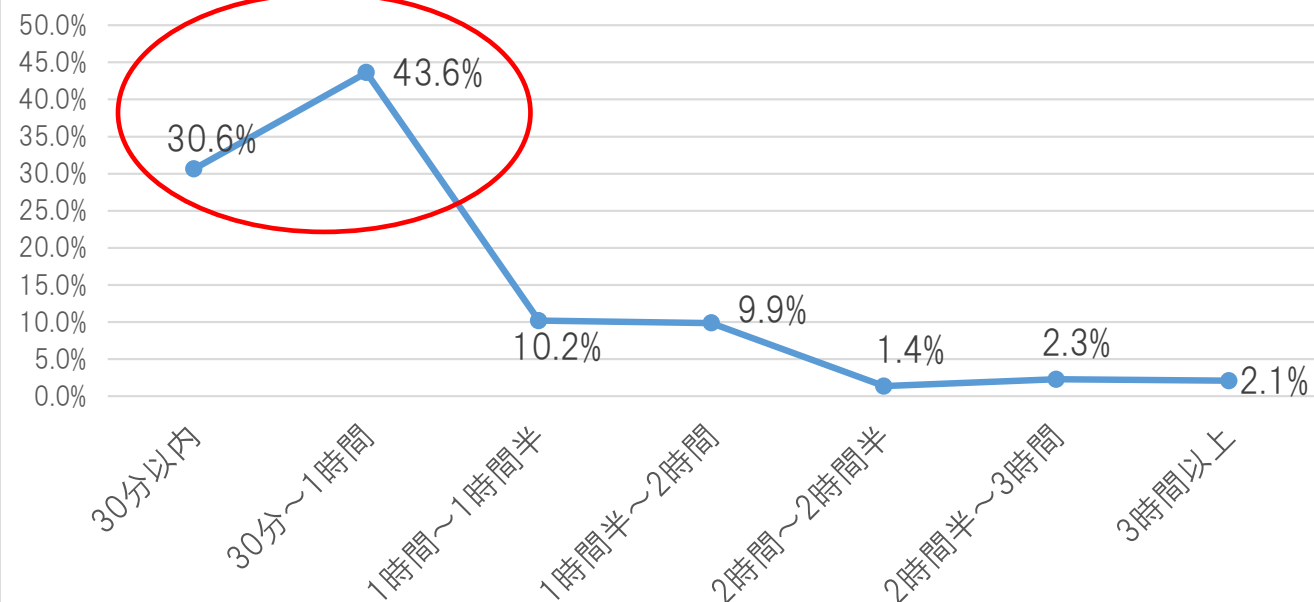
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

- ◆ 買い物施設に到着する時間帯は、『10時台』が最も多くなっている。
- ◆ 買い物先での滞在時間については、1時間以内で全体の約7割を占めている。

買い物施設に到着する時間帯 (n=3214)



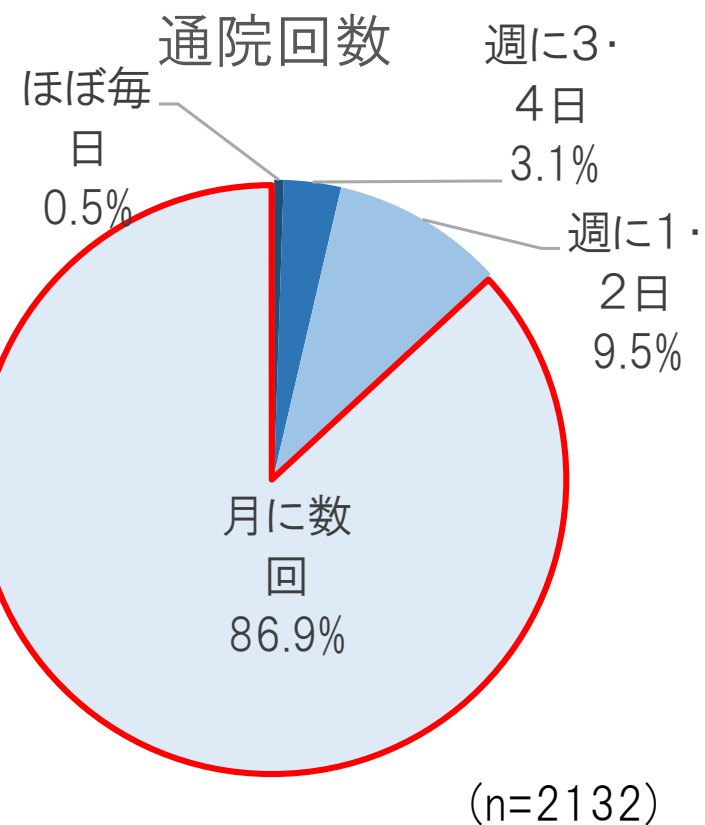
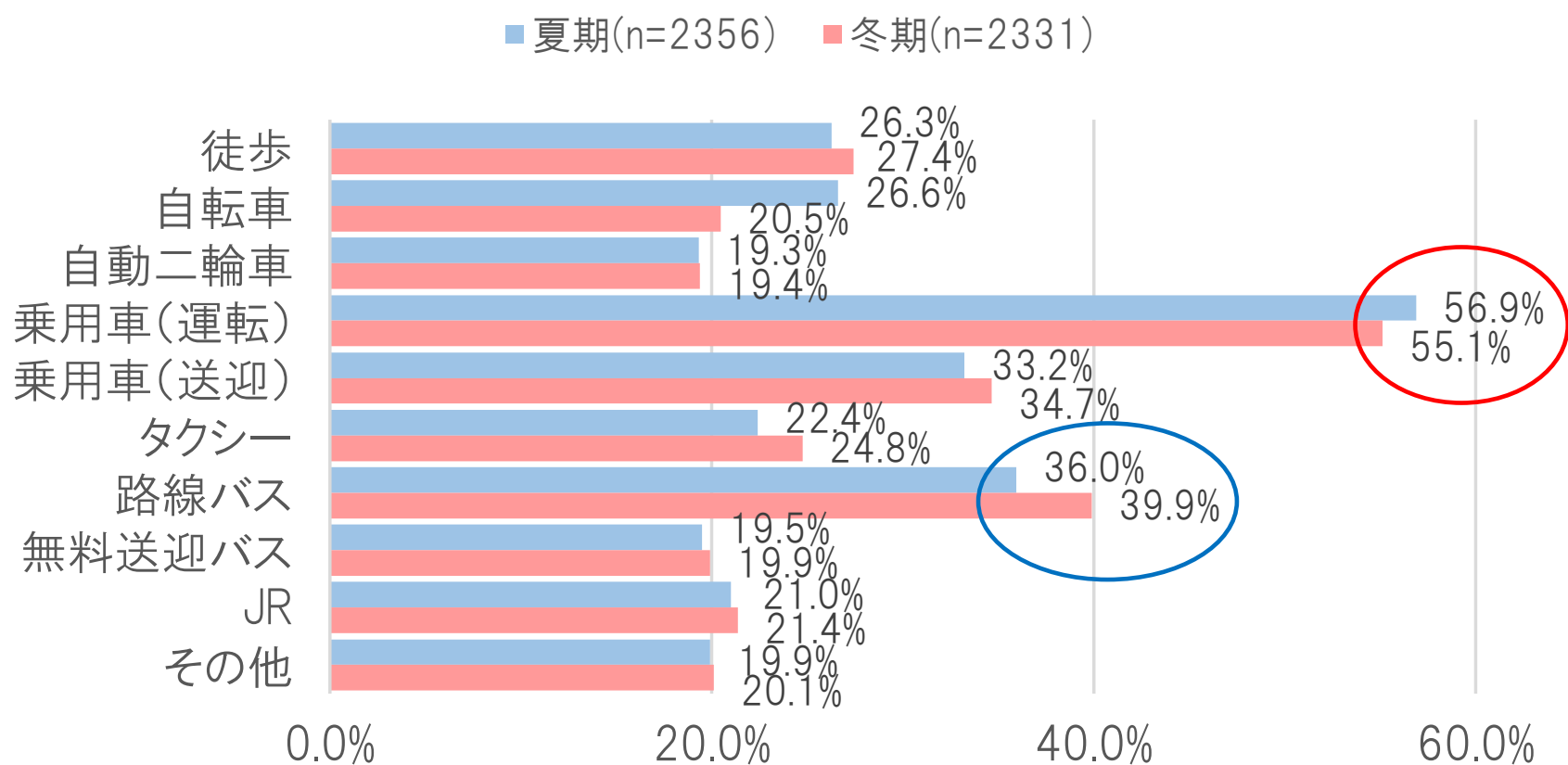
買い物先での滞在時間 (n=3255)



～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

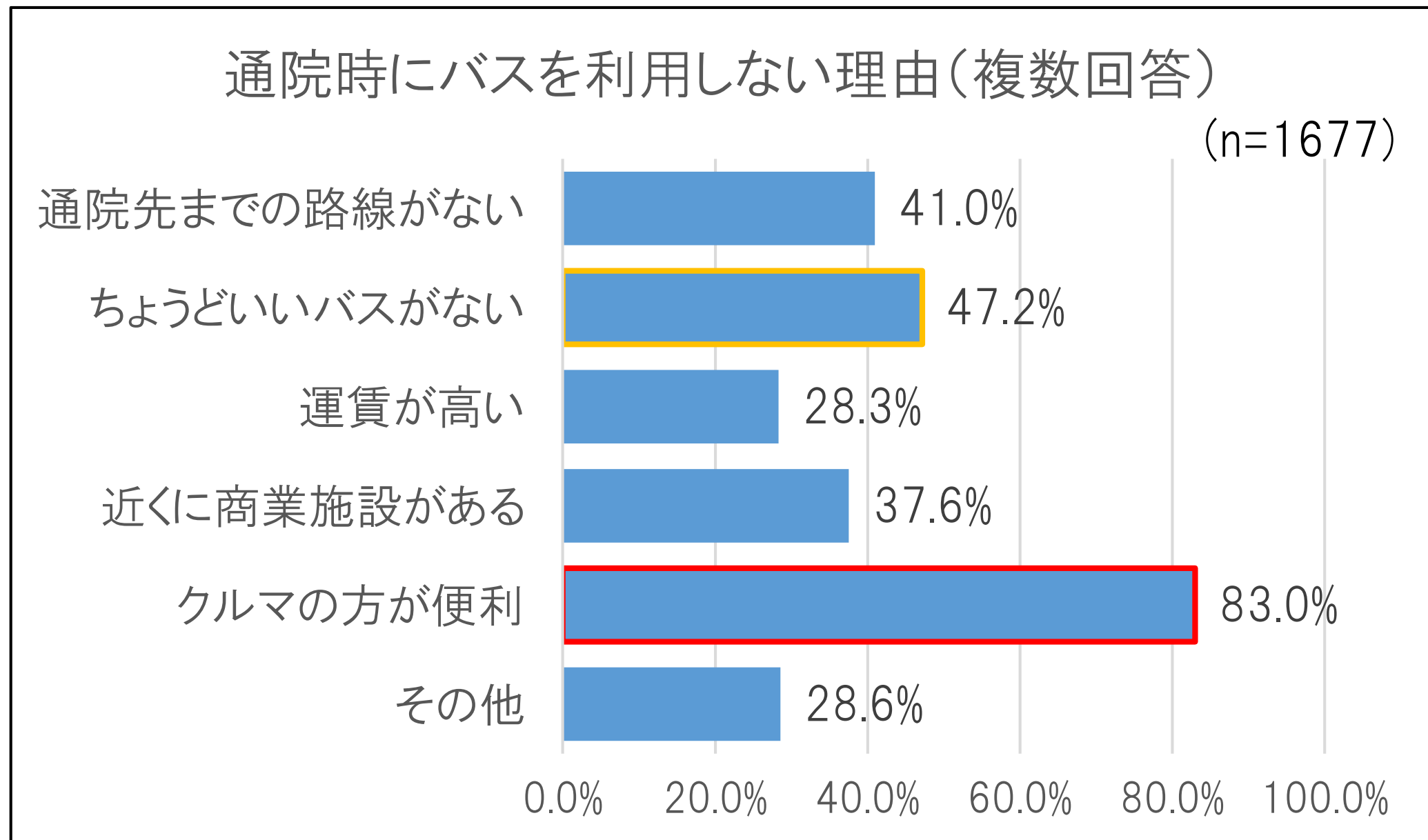
- ◆通院時の交通手段は、買い物同様、『乗用車（運転）』が最も多く、約6割を占めており、次いで、『路線バス』が約4割を占めている。
- ◆買い物時と比較して『路線バス』の利用が多い。
- ◆通院する回数は、約9割が『月に数回』と多数を占めている。

通院時の交通手段(複数回答)



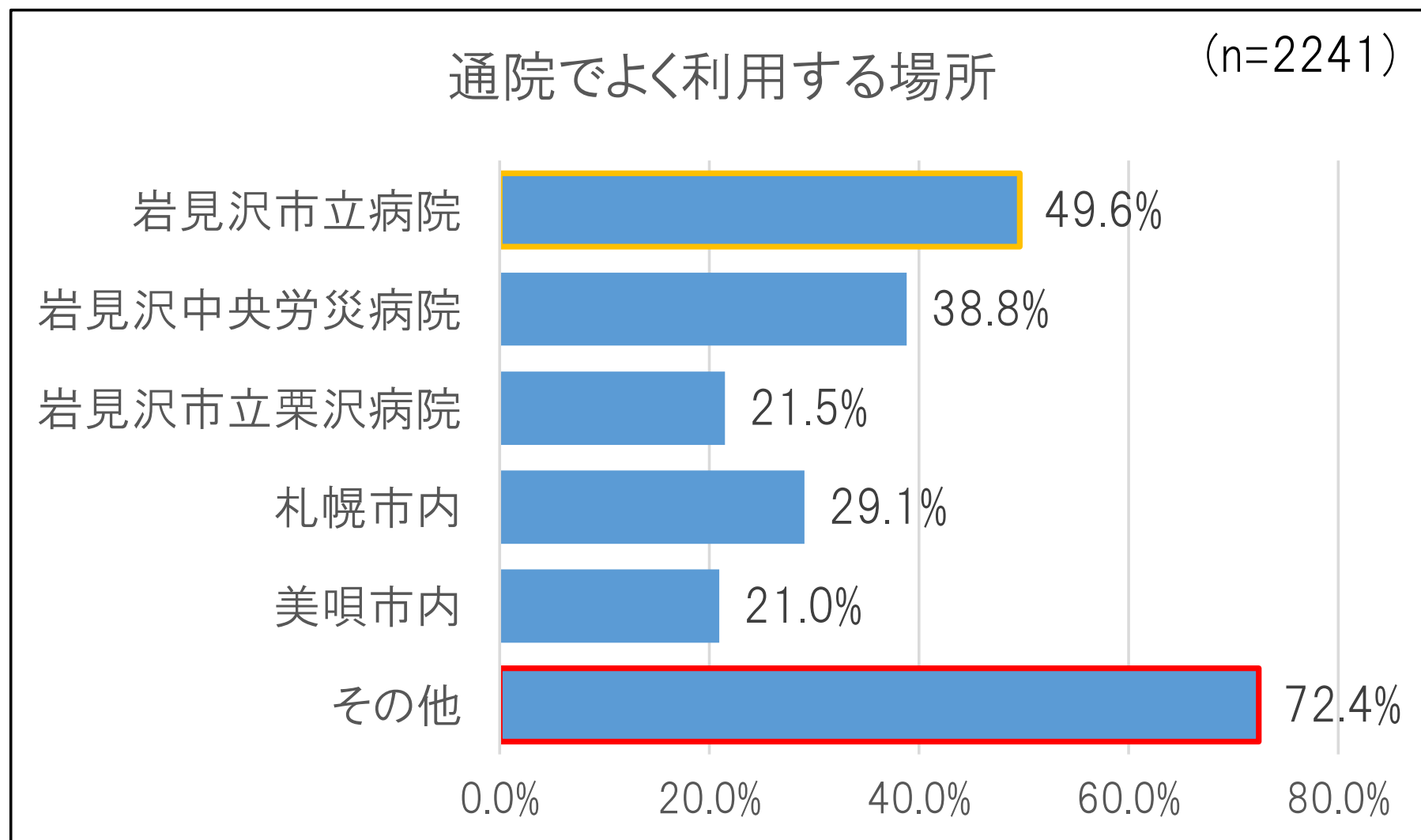
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

◆通院時にバスを利用しない理由としては、買い物同様、『クルマの方が便利』が最も多く、8割以上となっており、次いで『ちょうどいいバスがない』が多くなっている。



～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

◆通院でよく利用する場所は、岩見沢市内では、『岩見沢市立病院』が約5割と最も多くなっている。また、『札幌市』や『美唄市』への通院も多く見られる。

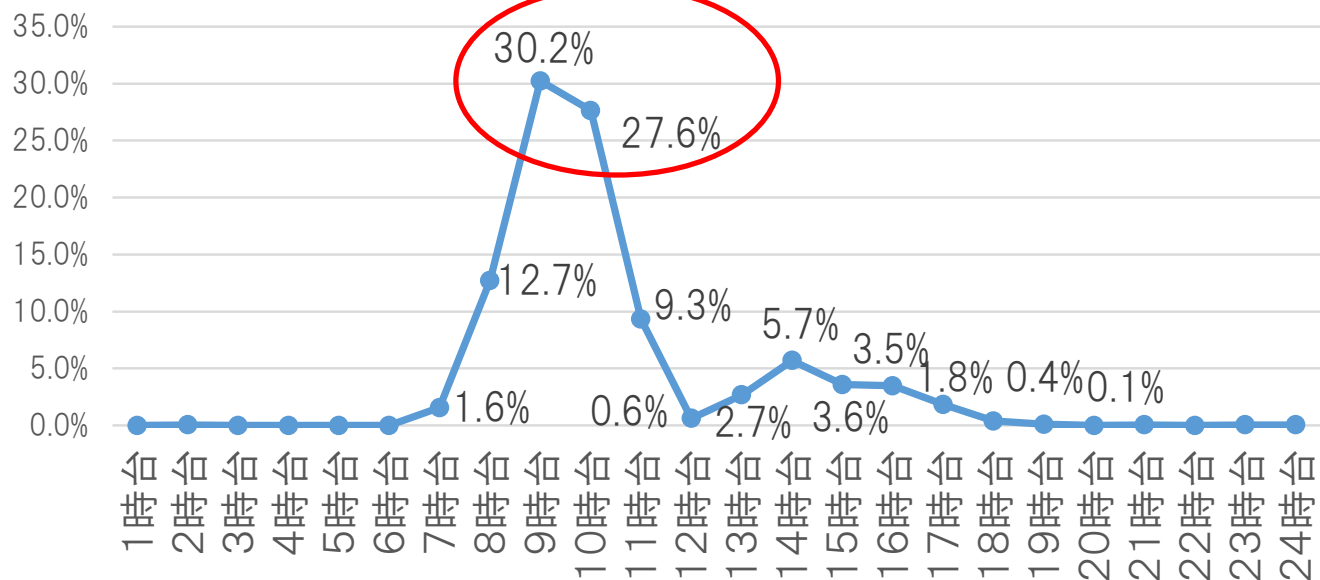


※その他は、「医療法人北翔会6条整形外科クリニック」や「石川内科・循環器科クリニック」等、小規模の医療施設が多い

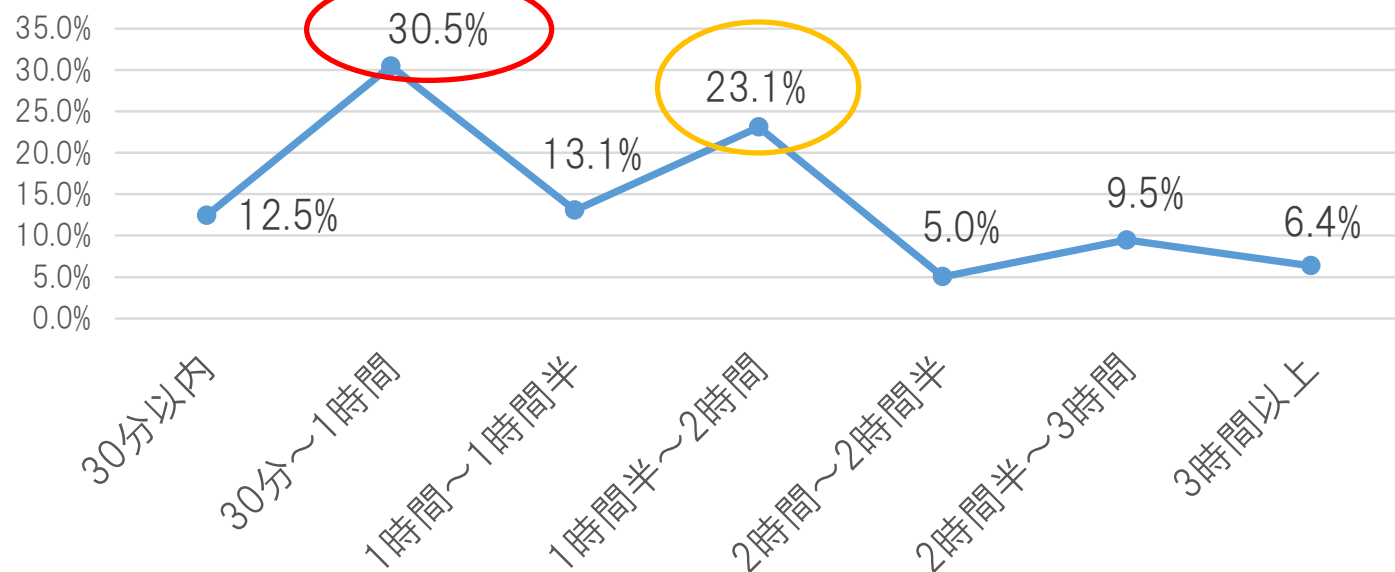
～ 4. 回答者の主な交通行動について ～

- ◆通院する時間帯は、『9時台』と『10時台』が多くなっている。
- ◆通院先での滞在時間は、『30分以内』が全体の約3割を占め、最も多く、次いで『1時間半～2時間』が約2割を占めている。

通院する時間帯 (n=2124)

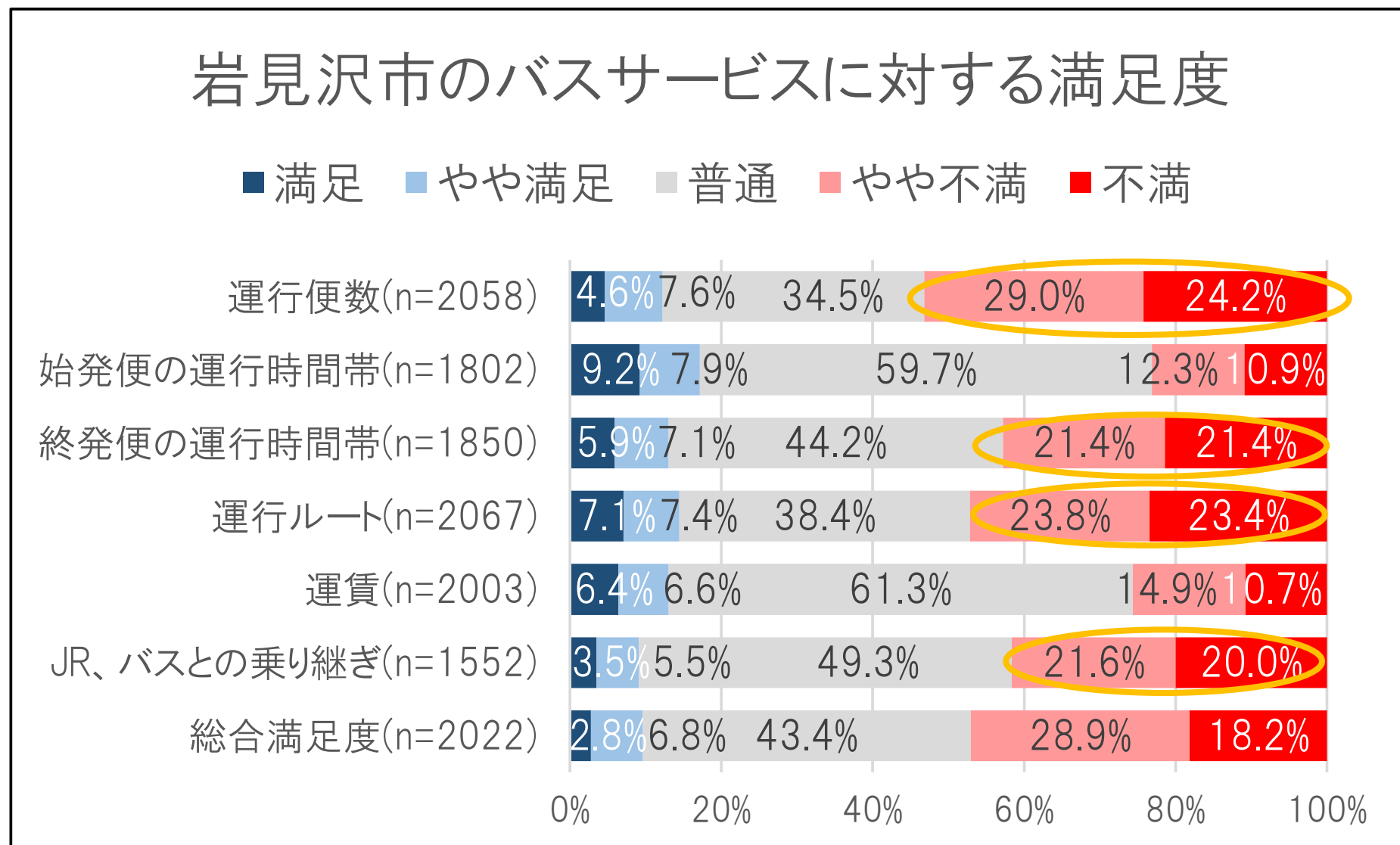


通院先での滞在時間 (n=2120)



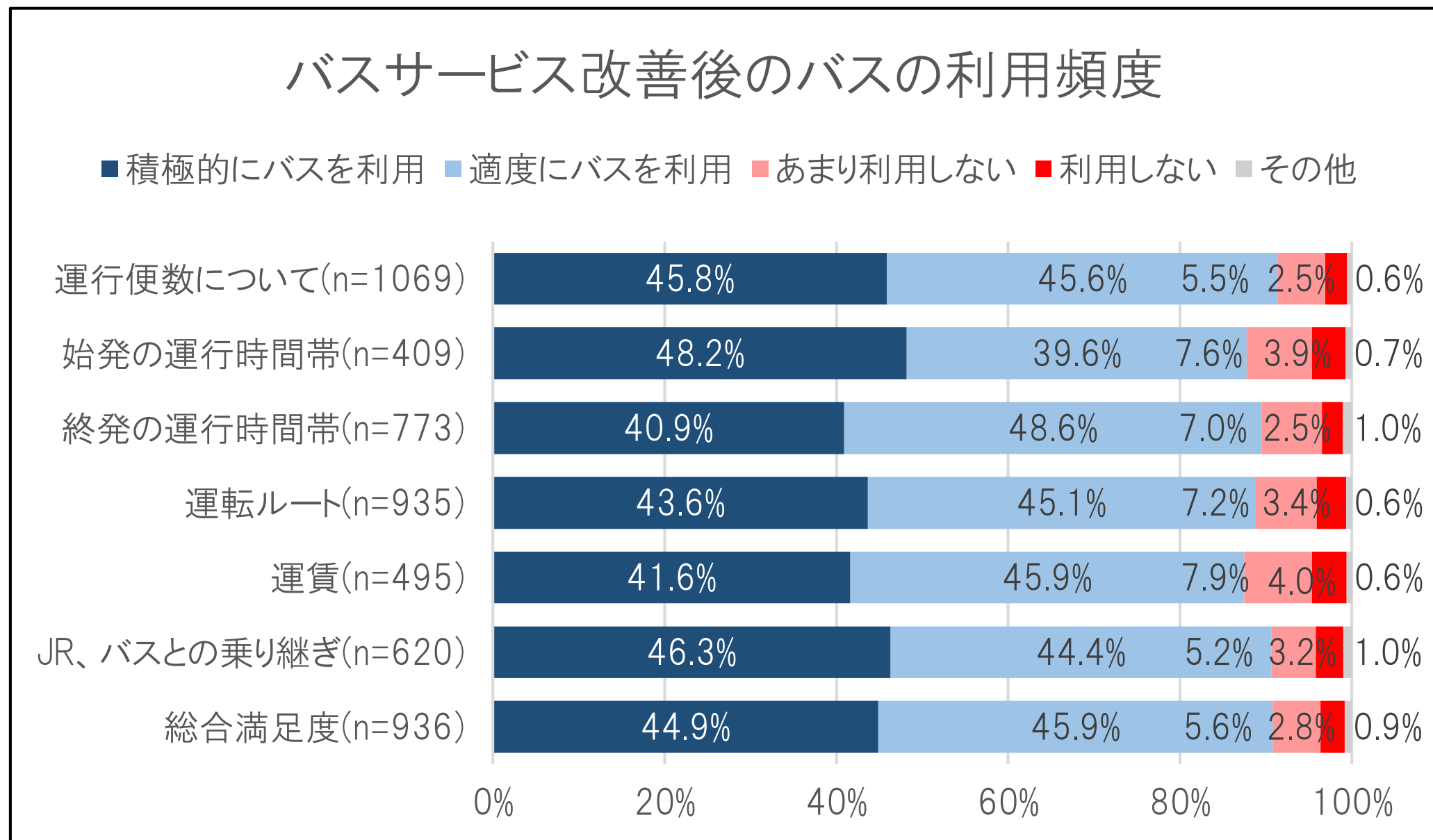
～ 5. 岩見沢市のバス交通に対する満足度について ～

◆岩見沢市民のバスサービスに対する満足度をみると、『運行便数』、『終発の運行時間帯』、『運行ルート』、『JR、バスとの乗り継ぎ』について、『やや不満』、『不満』の回答が多くなっている。



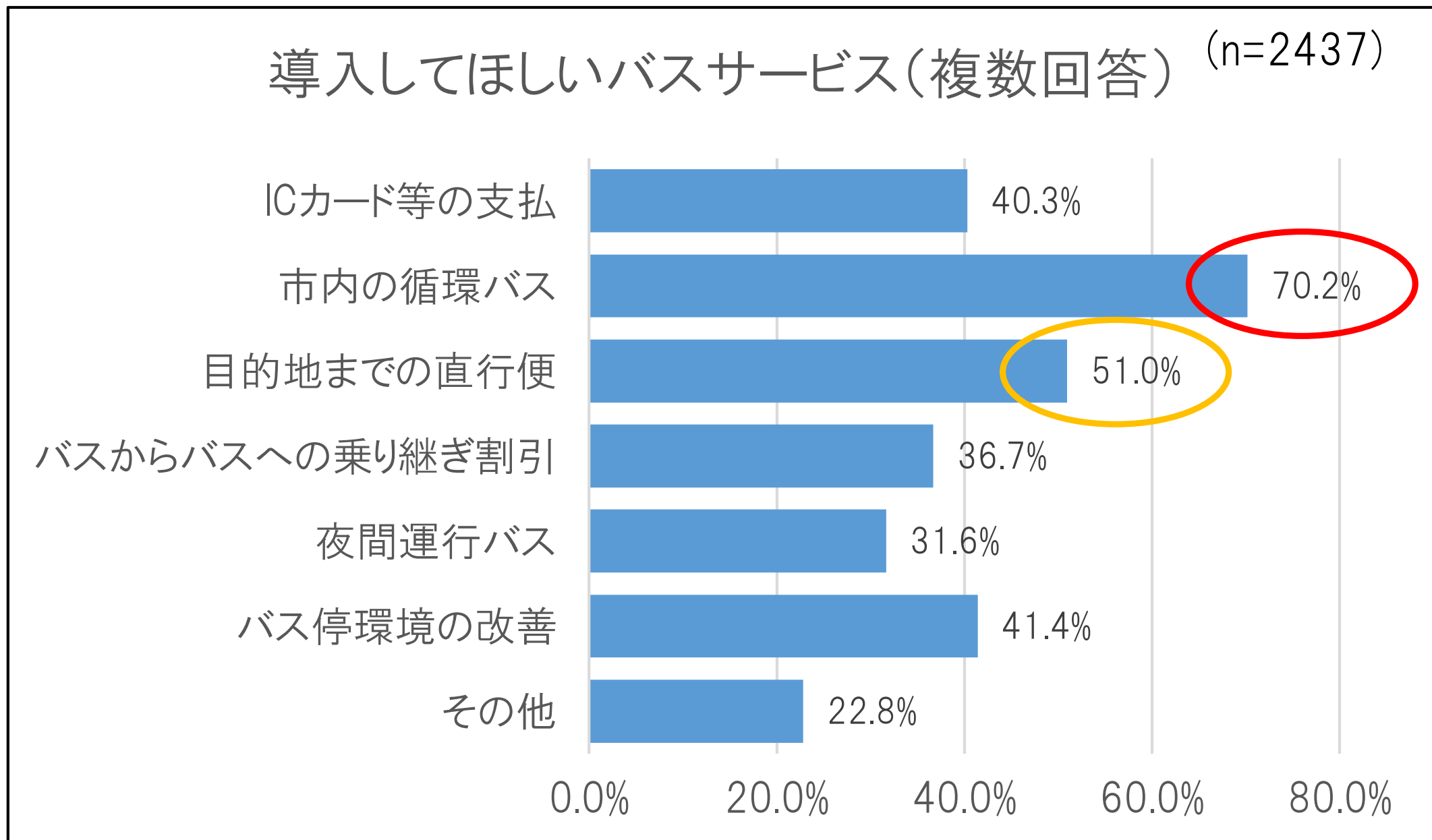
～ 5. 岩見沢市のバス交通に対する満足度について ～

◆不満に思われるバスサービスが改善された場合の利用頻度の変化をみると、**全項目で、『積極的にバスを利用』、『適度にバスを利用』を合わせた回答数が8割以上**となっている。



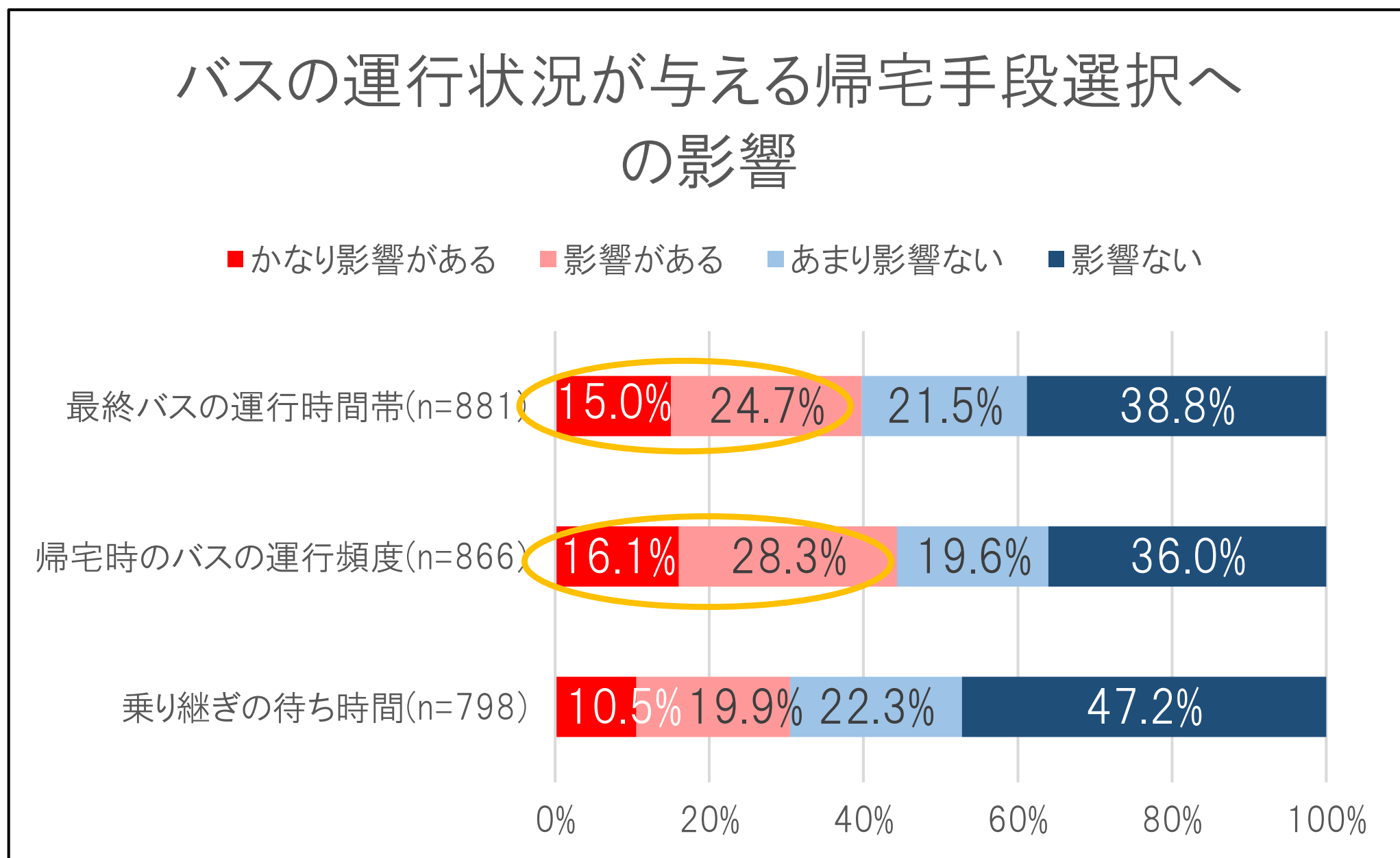
～ 5. 岩見沢市のバス交通に対する満足度について ～

◆導入してほしいバスサービスは、『市内の循環バス』が約7割で最も多くなっており、次いで約5割の『目的地までの直行便』となっている。



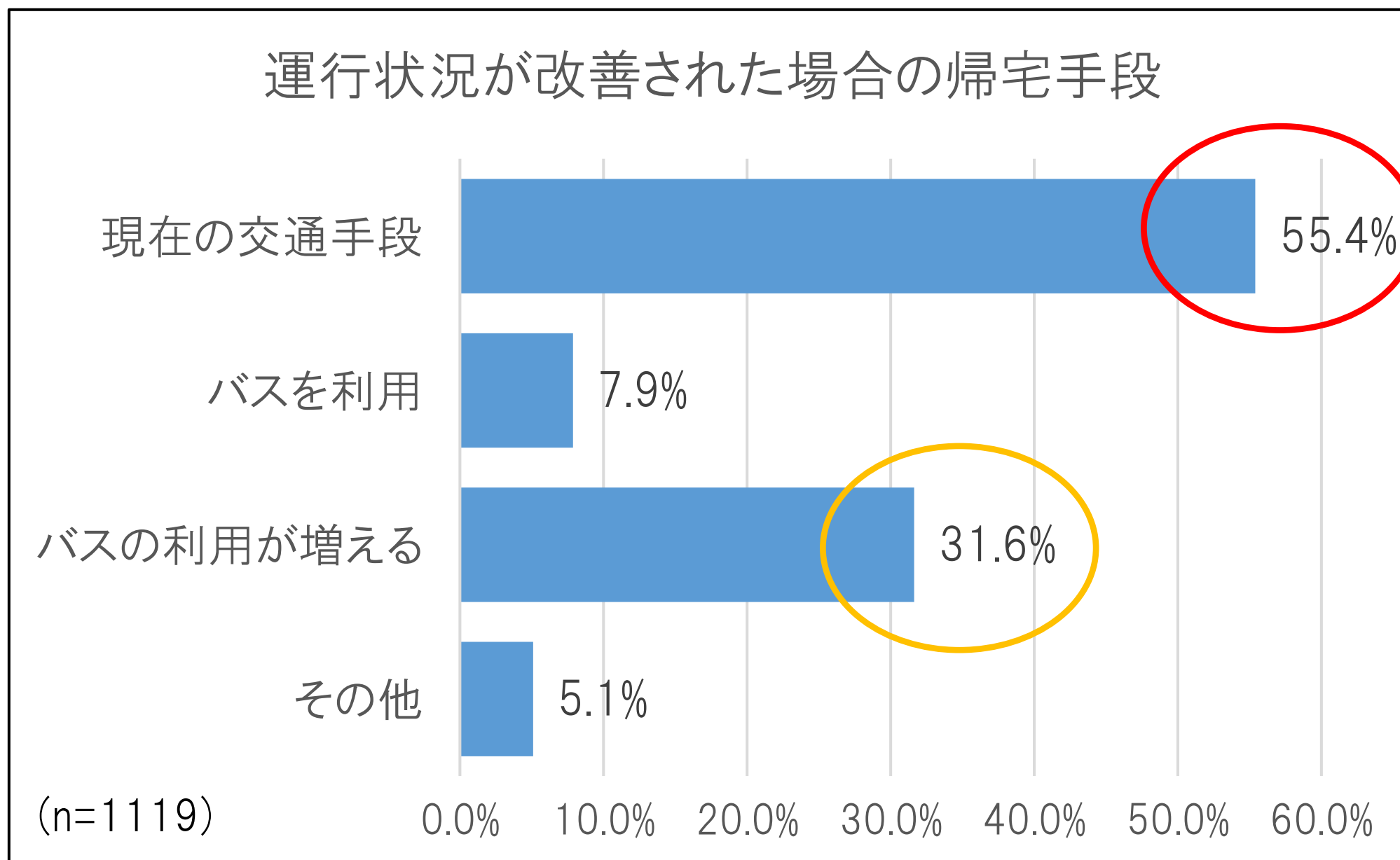
～ 6. 通勤・通学時の帰宅交通について ～

◆バスの運行状況が与える帰宅手段選択への影響をみると、『かなり影響がある』と『影響がある』を合わせた回答が、『最終バスの運行時間帯、』、『帰宅時のバスの運行頻度』が約4割となっている。



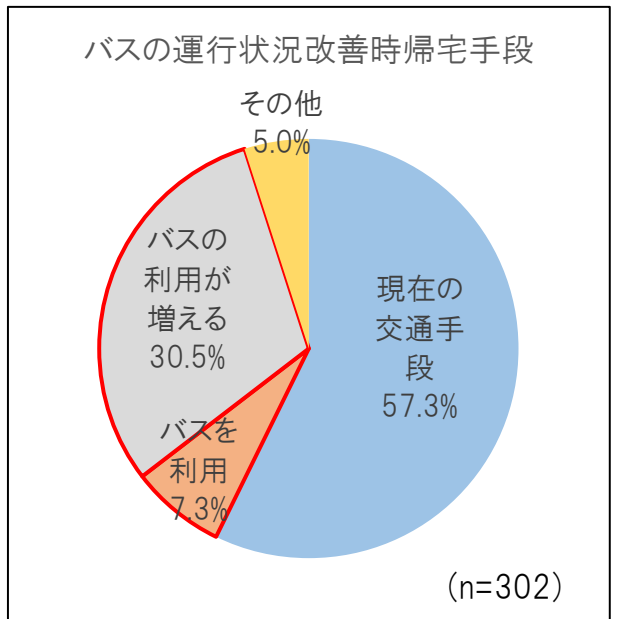
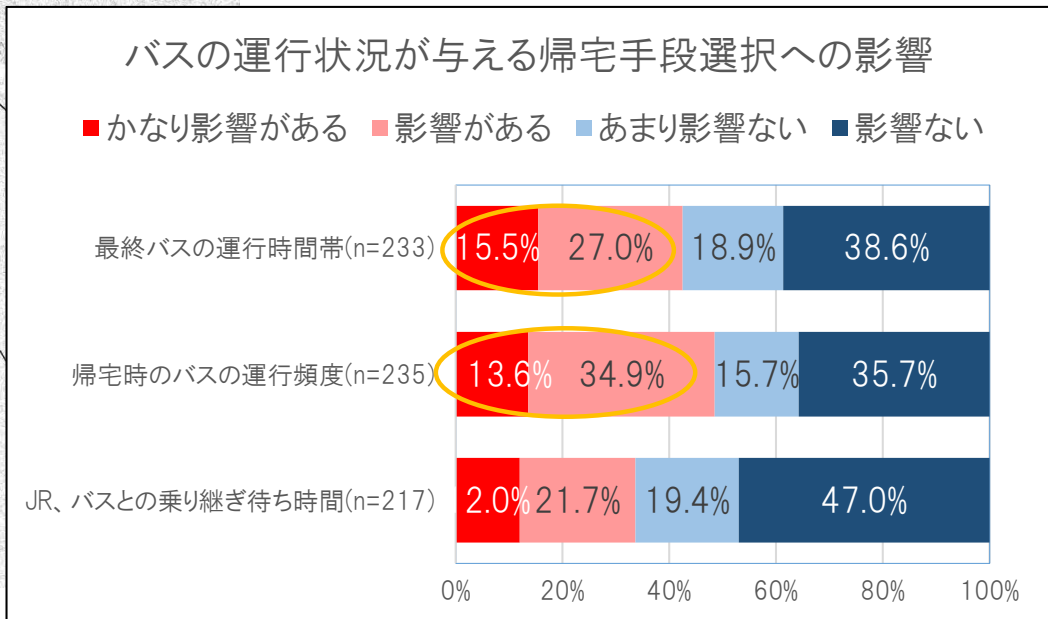
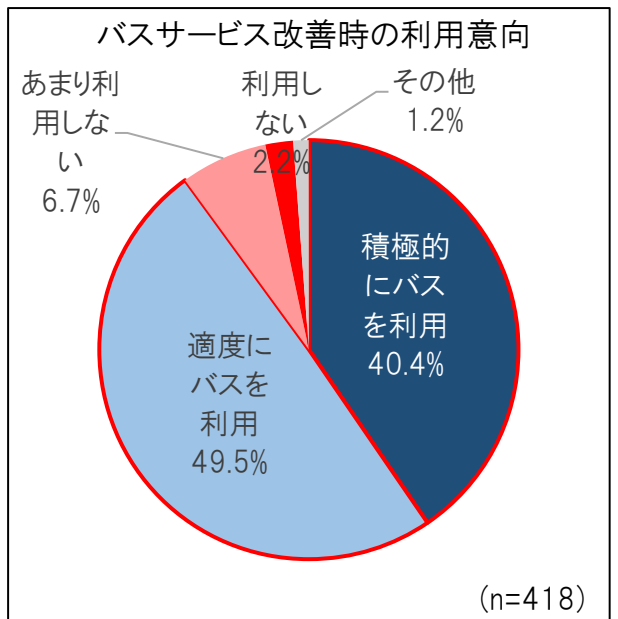
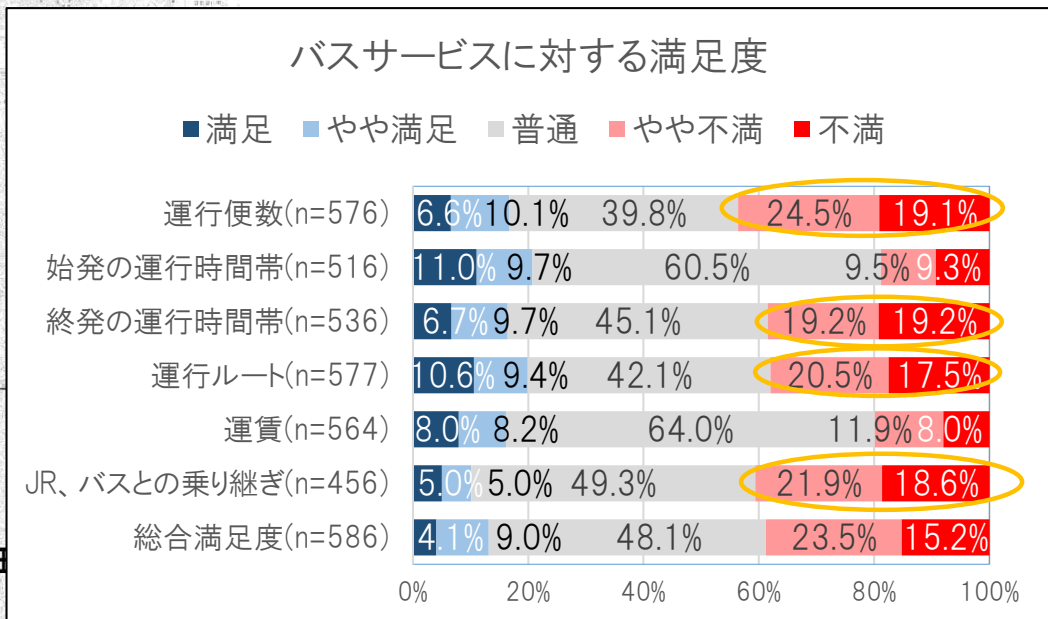
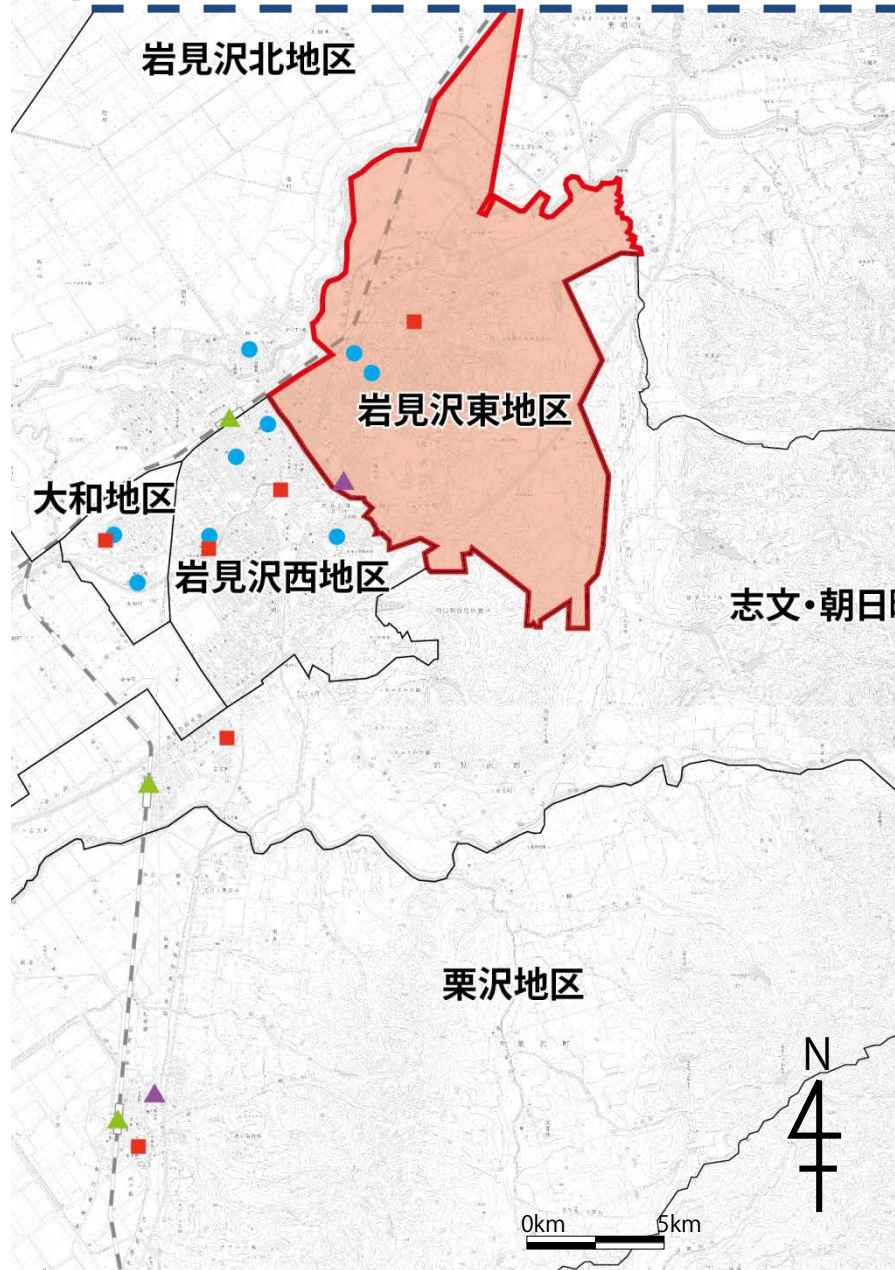
～ 6. 通勤・通学時の帰宅交通について ～

◆バスの運行状況が改善された場合の帰宅手段をみると、『現在の交通手段』が最も多くが、次いで『バスの利用が増える』が約3割となっている。



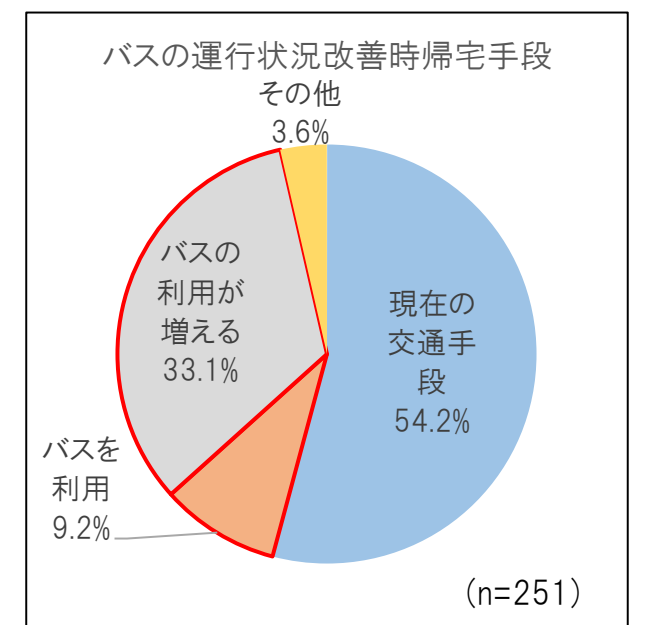
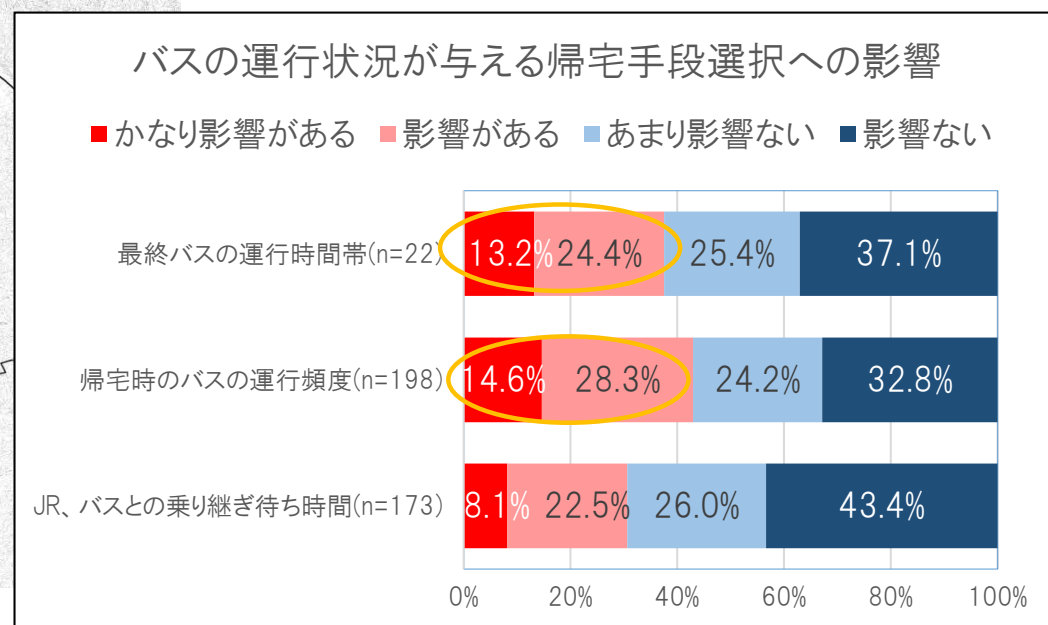
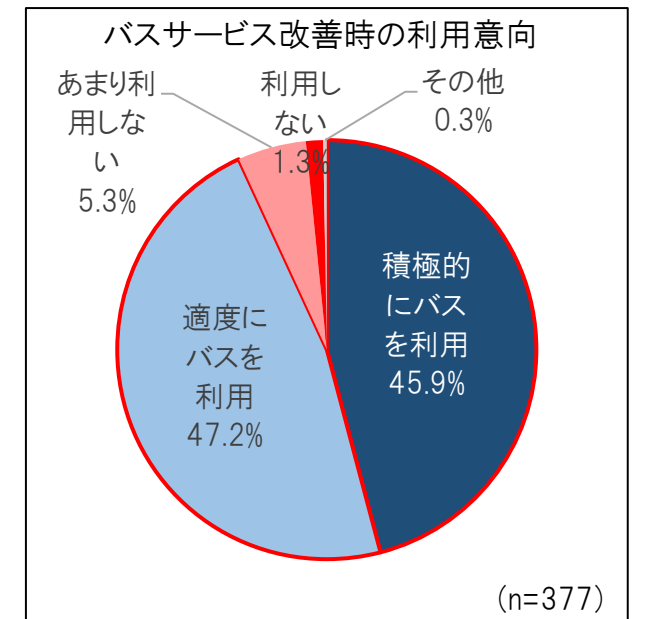
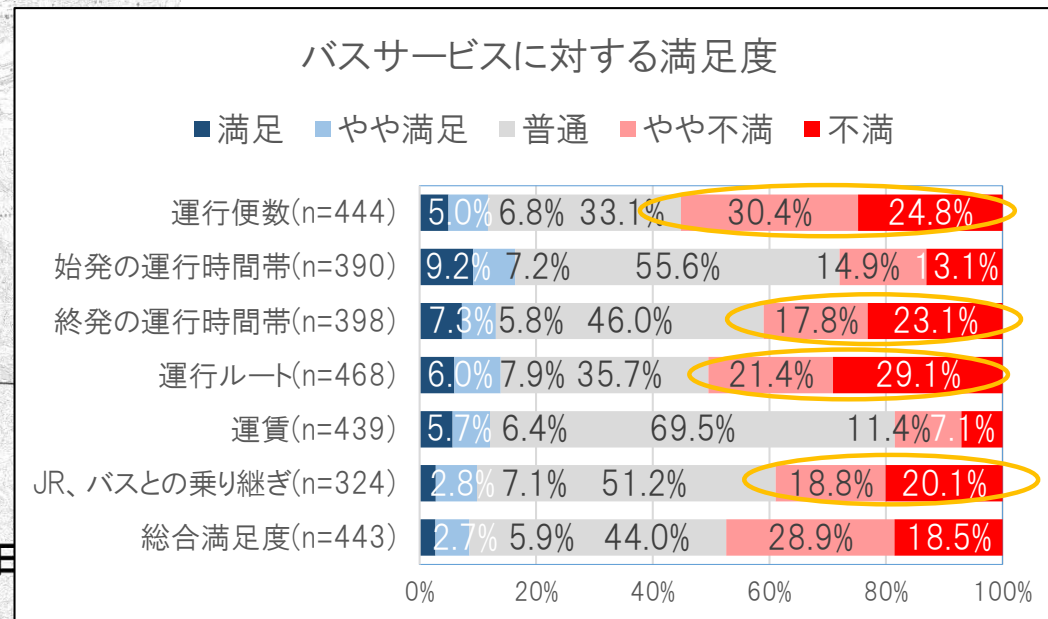
7. 地区別分析-岩見沢東地区

- ◆岩見沢東地区では、『運行便数』『JR、バスとの乗り継ぎ』等で不満が高く、帰宅時の交通手段の選択では、『最終バスの運行時間帯』や『帰宅時のバス運行頻度』が影響を与えている。
- ◆バスサービス、運行状況が改善された場合、バスの利用頻度が高まることが予想される。



7. 地区別分析-岩見沢西地区

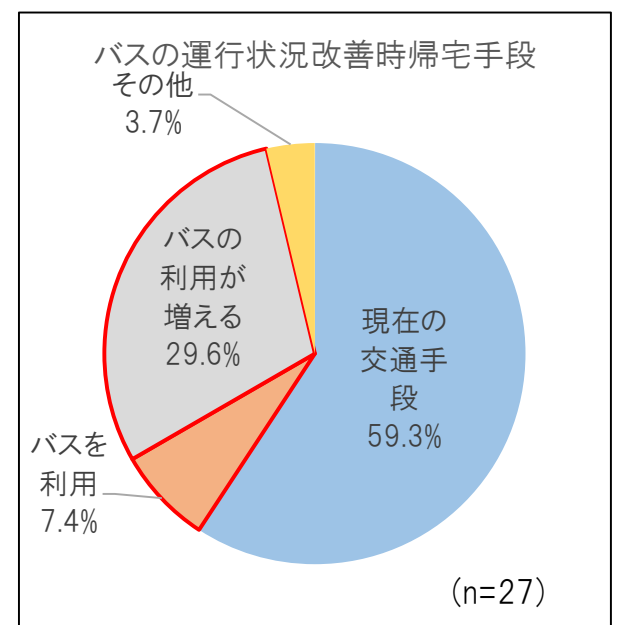
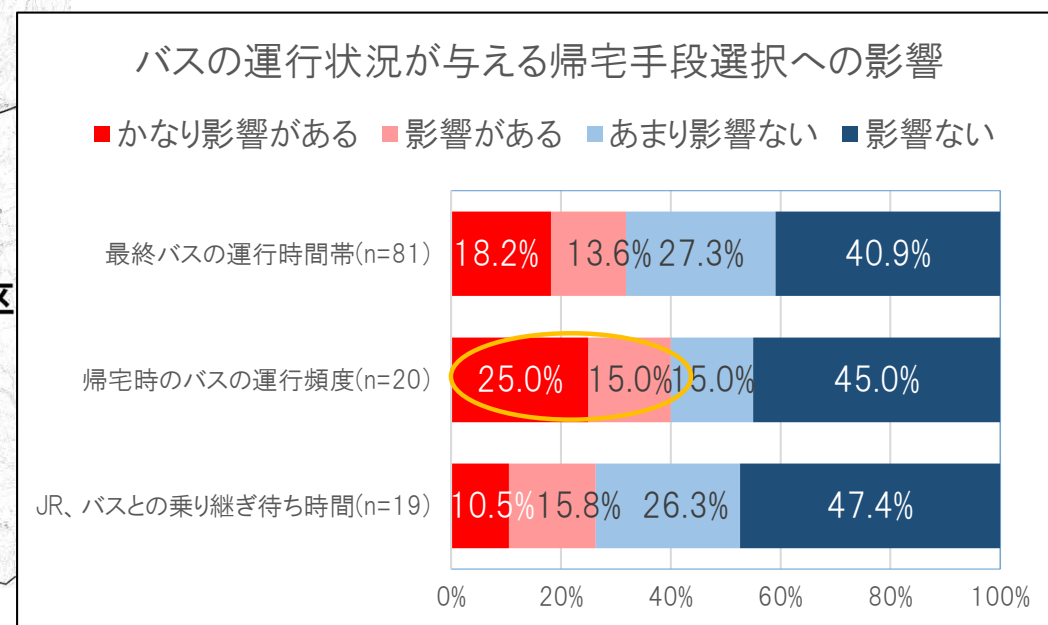
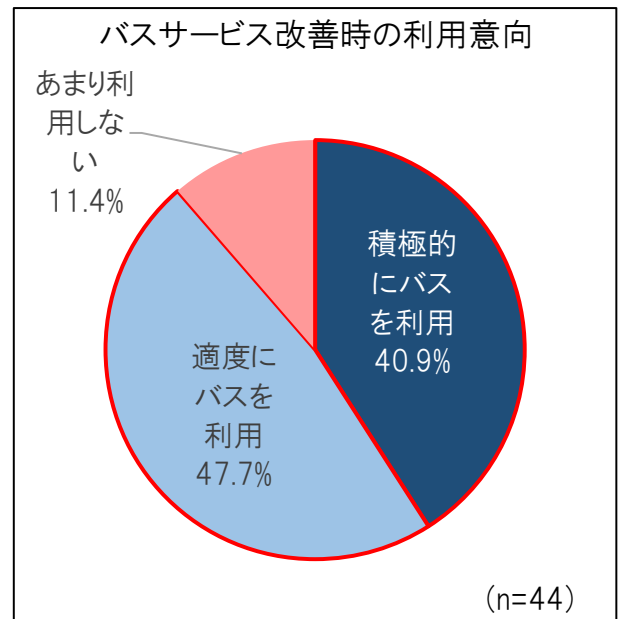
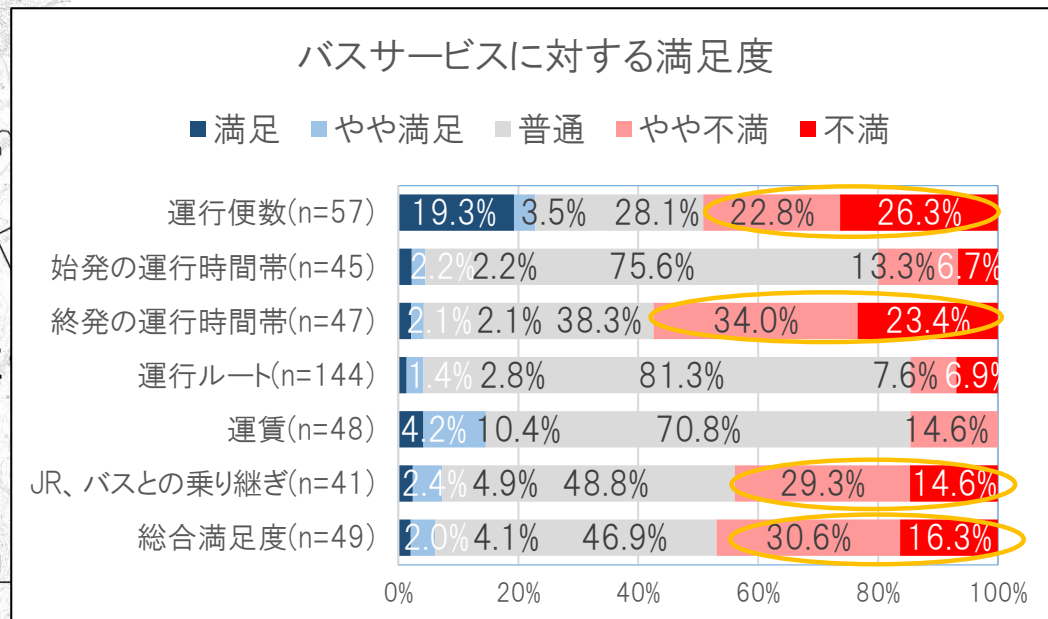
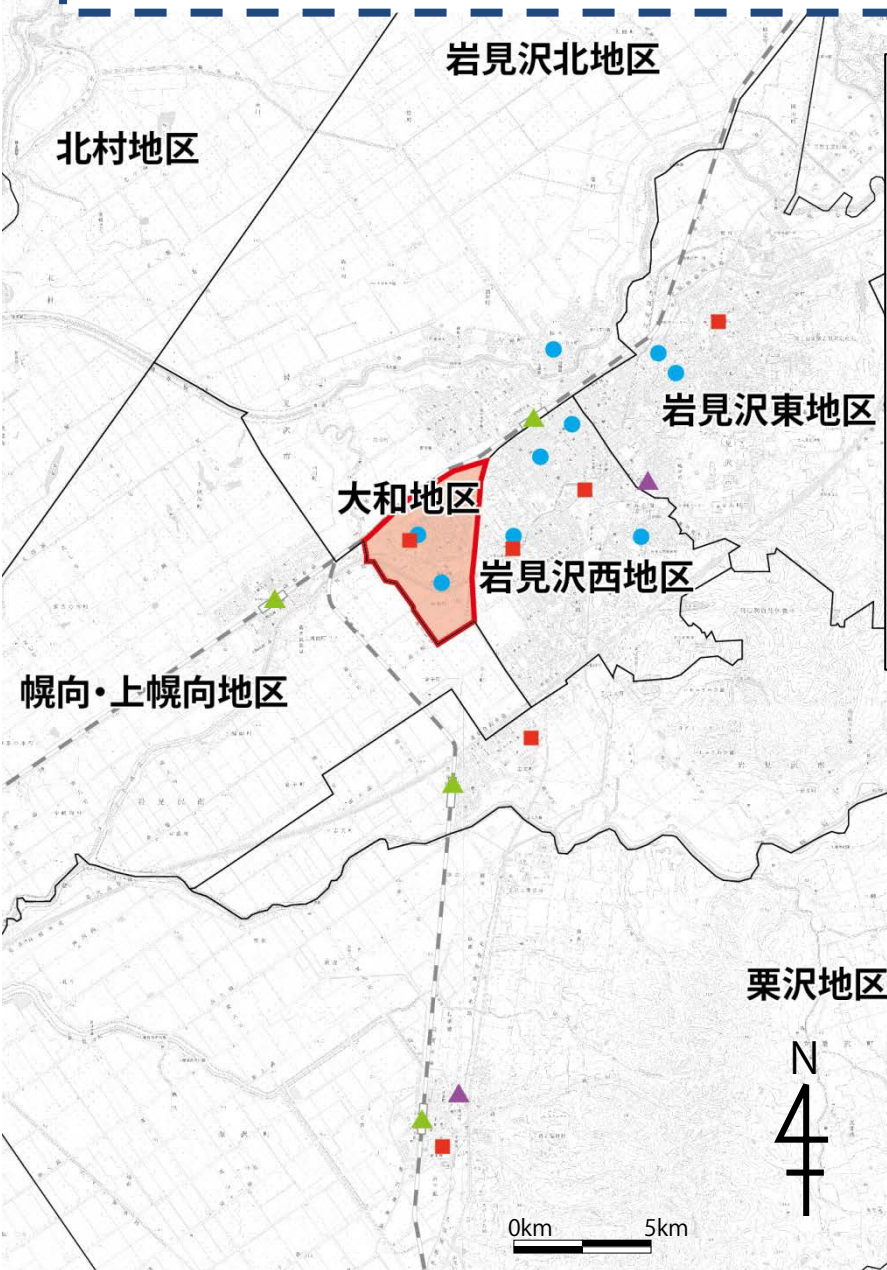
- ◆岩見沢西地区では、『運行便数』や『運行ルート』等で不満が高くなっており、帰宅時の交通手段選択では『最終バスの運行時間帯』や『帰宅時のバスの運行頻度』が影響を与えている。
- ◆これらバスサービスや運行状況が改善された場合、バスへ転換することが予想される。



7. 地区別分析-大和地区

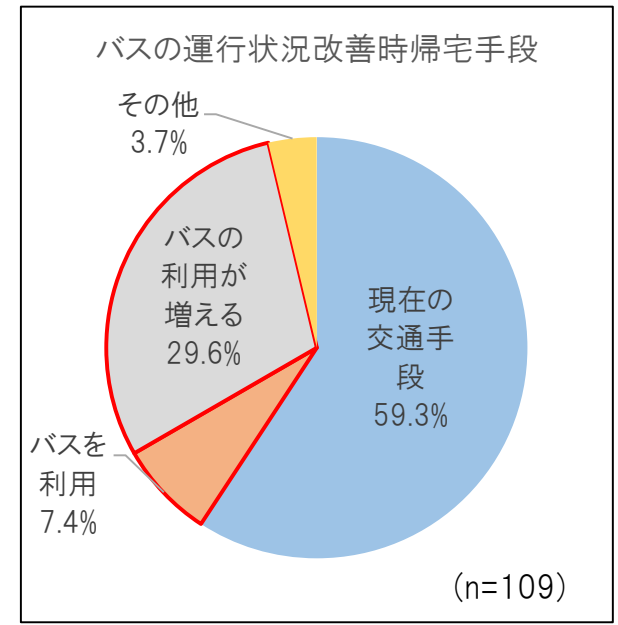
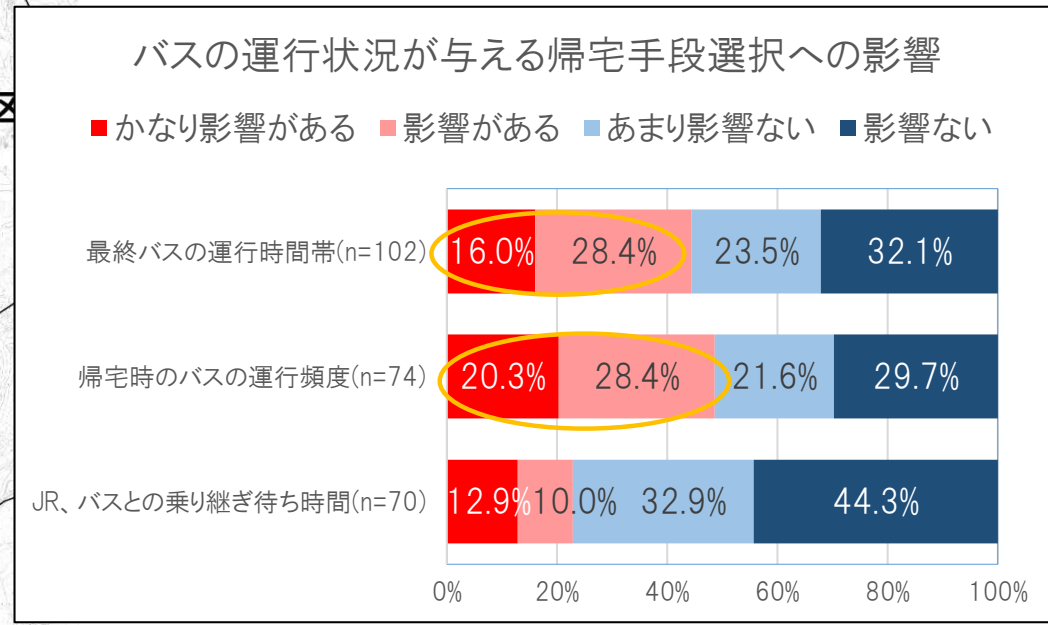
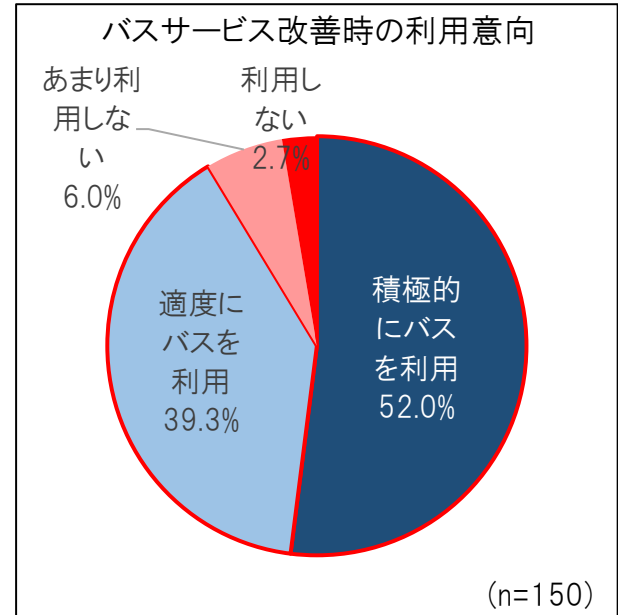
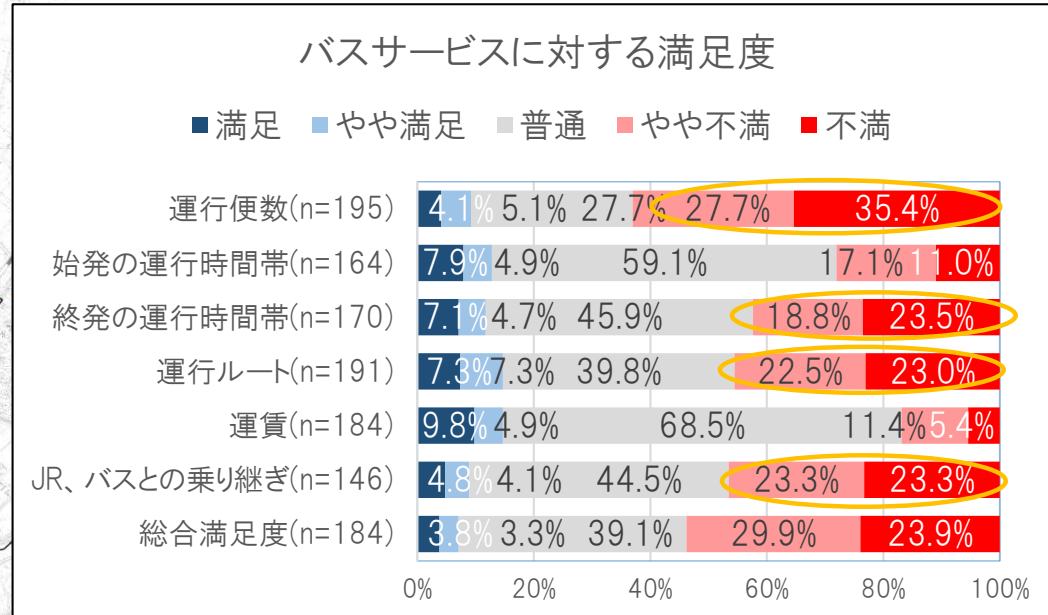
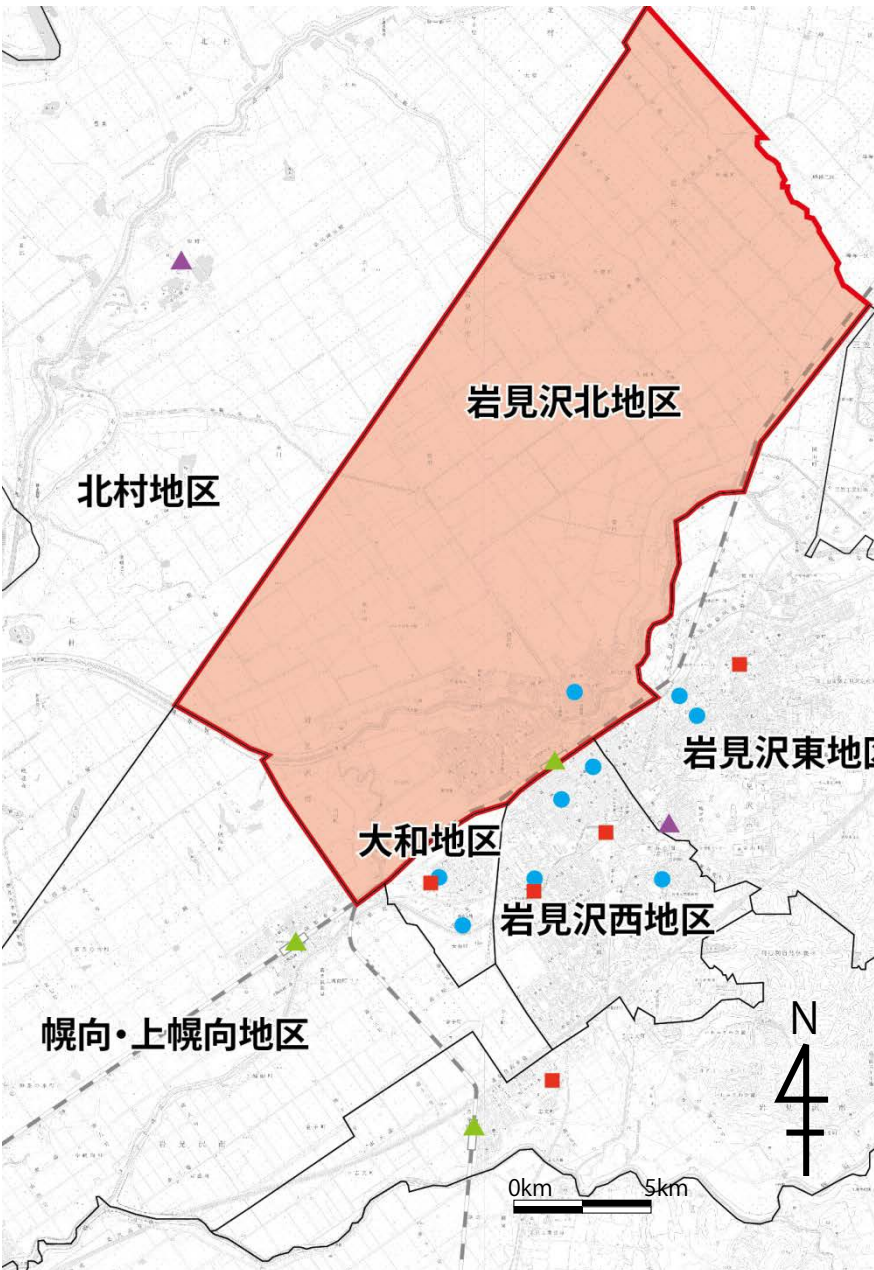
◆大和地区では、『運行便数』『終発の運行時間帯』等で不満が高く、帰宅手段の選択には『帰宅時のバスの運行頻度』が影響を与えている。

◆バスサービス、運行状況が改善された場合、バスの利用頻度は高まることが予想される。



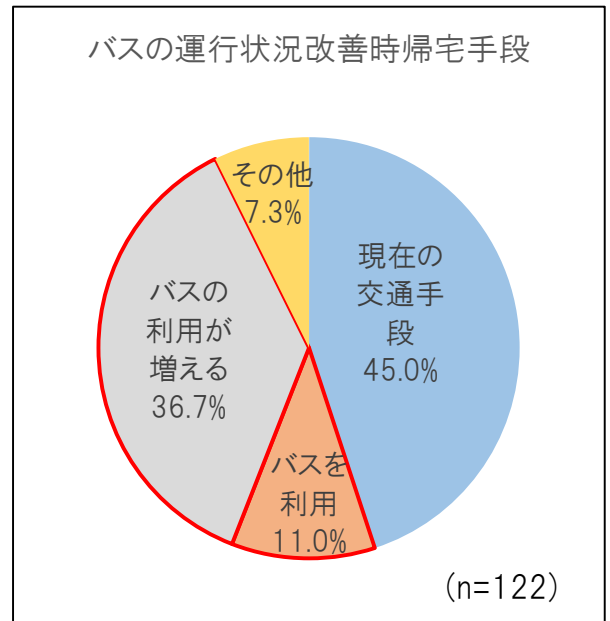
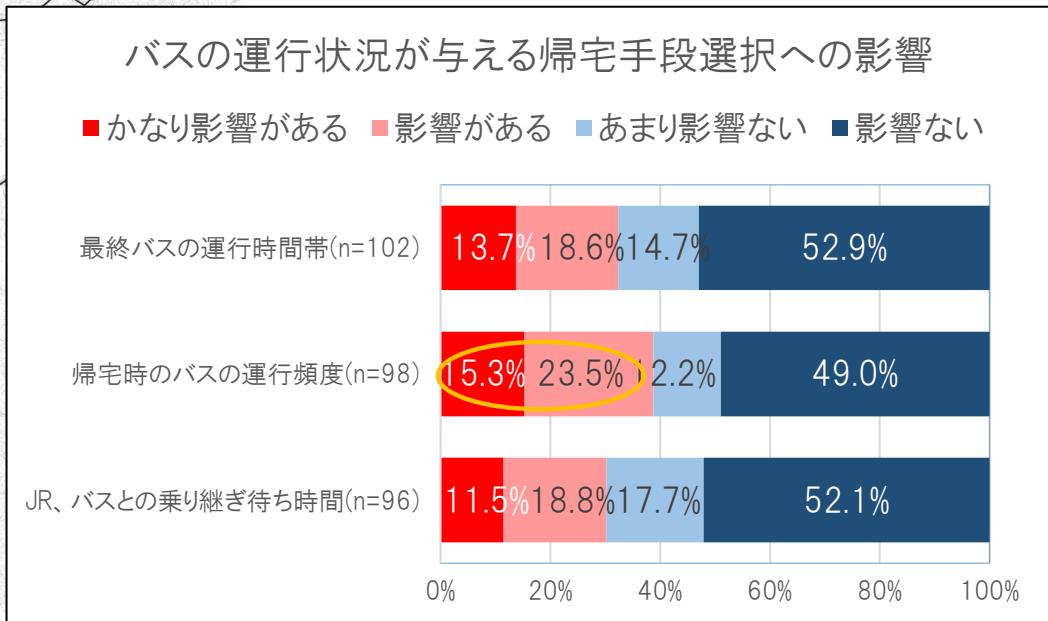
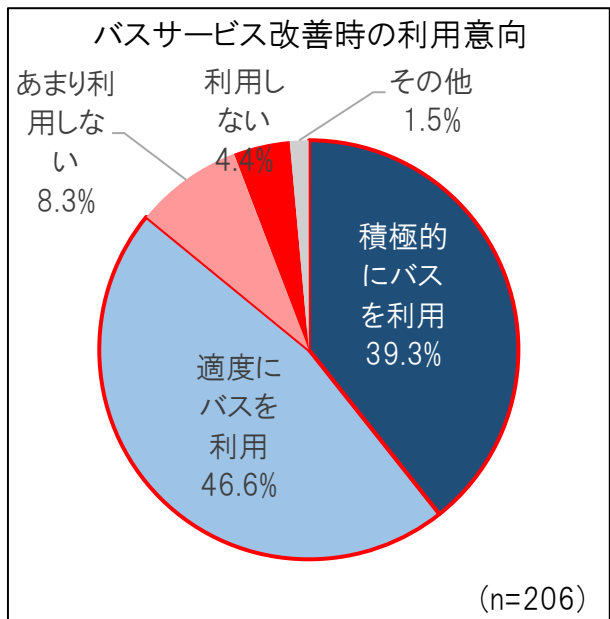
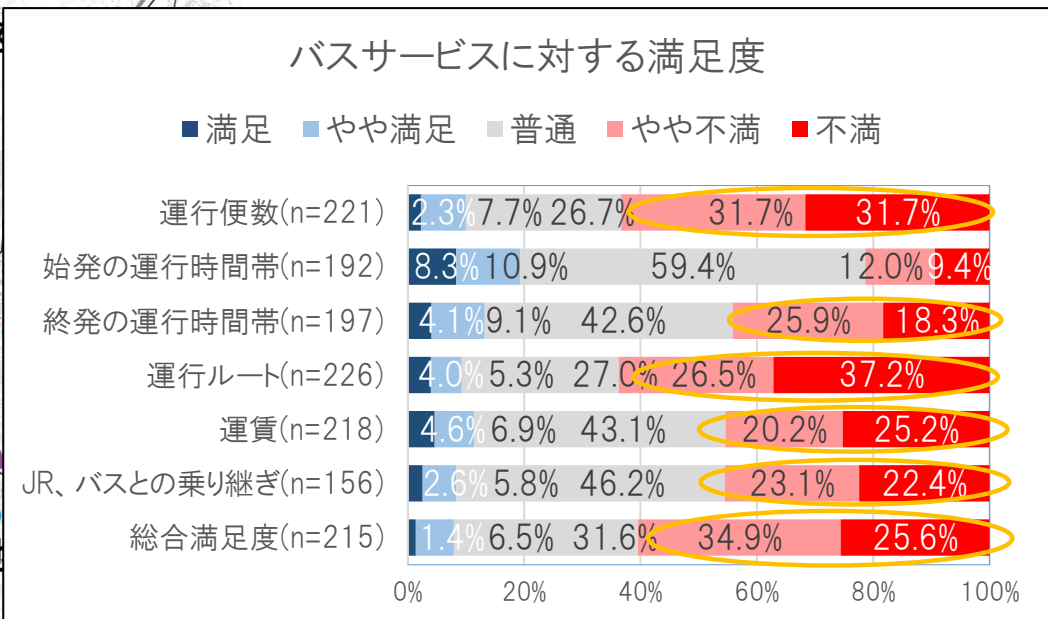
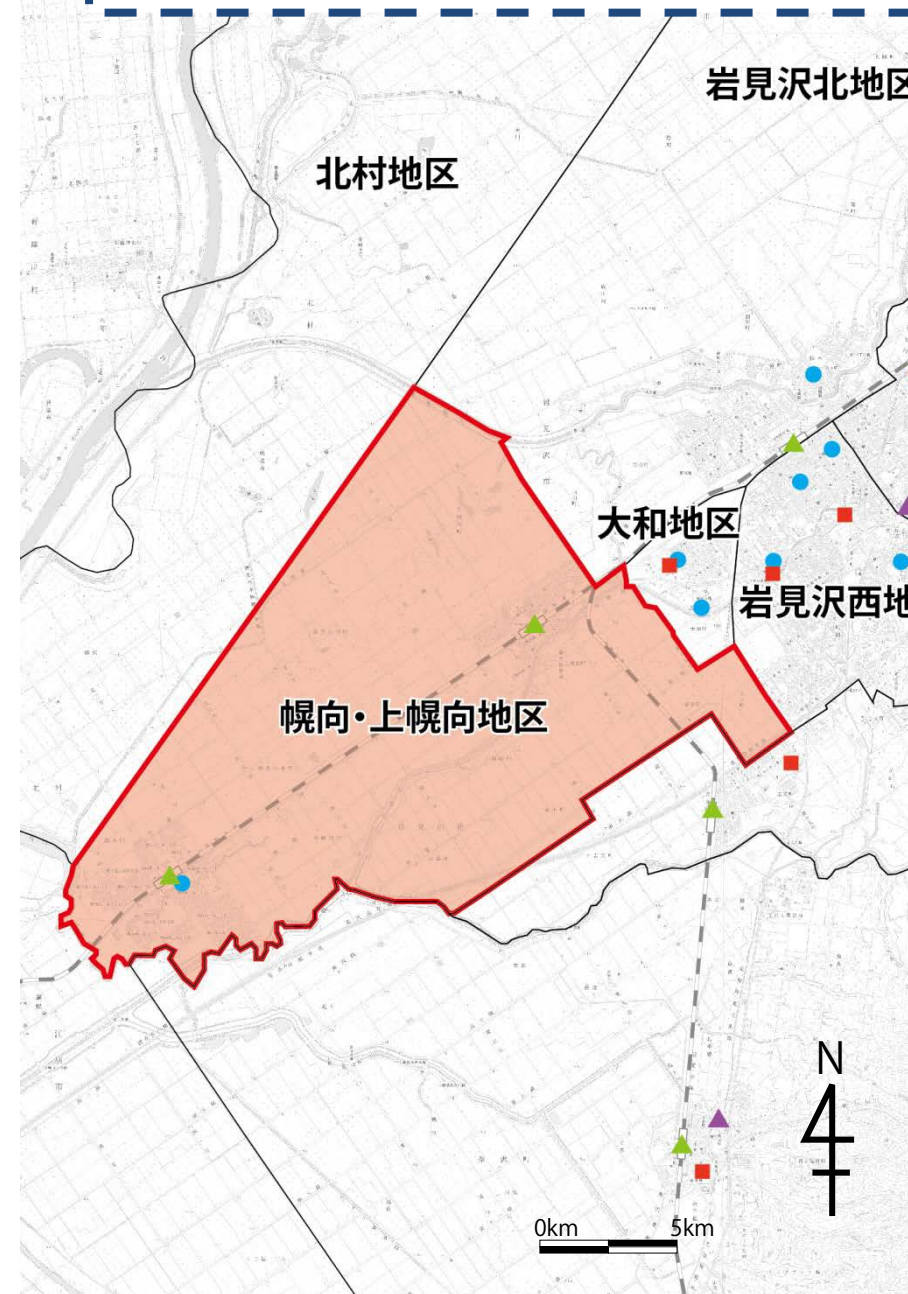
7. 地区別分析-岩見沢北地区

- ◆岩見沢北地区では『運行便数』『終発の運行時間帯』『運行ルート』で不満が高くなっており、『最終バスの運行時間帯』や『帰宅時のバスの運行頻度』が帰宅手段に影響を与えている。
- ◆バスサービス改善時の利用意向は『積極的にバスを利用』が約9割となっている。



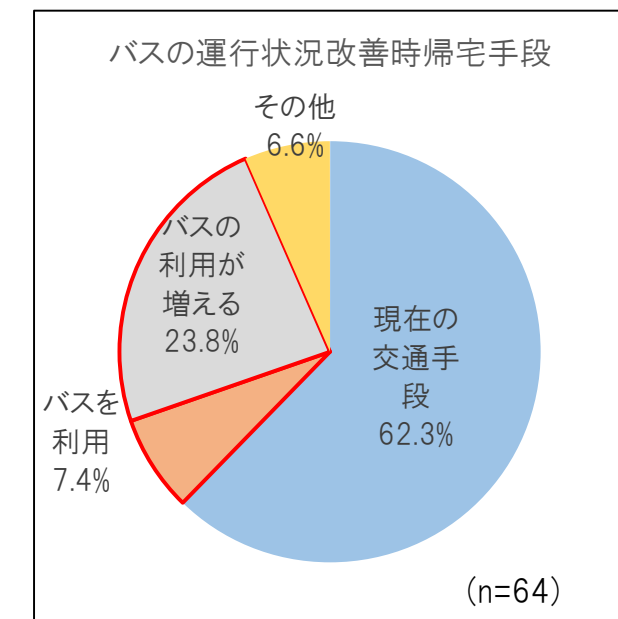
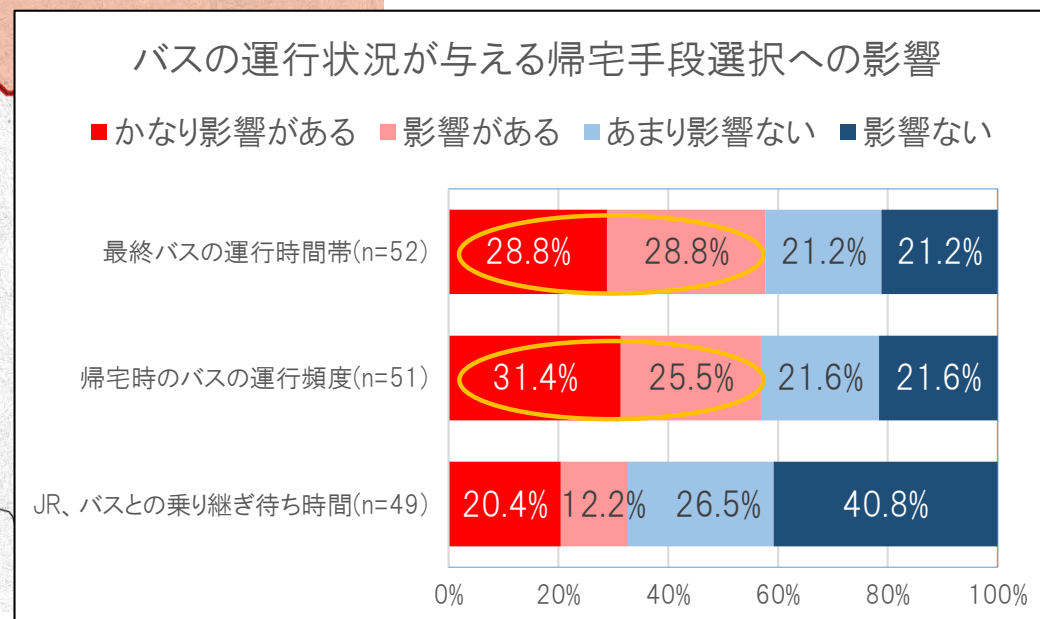
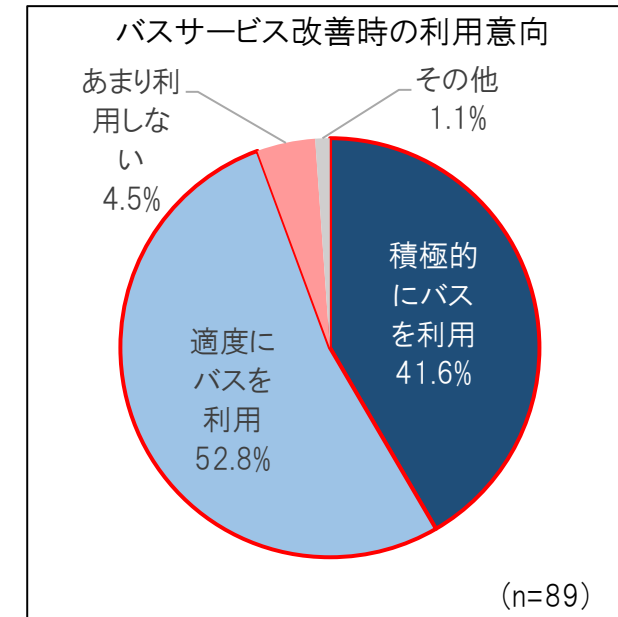
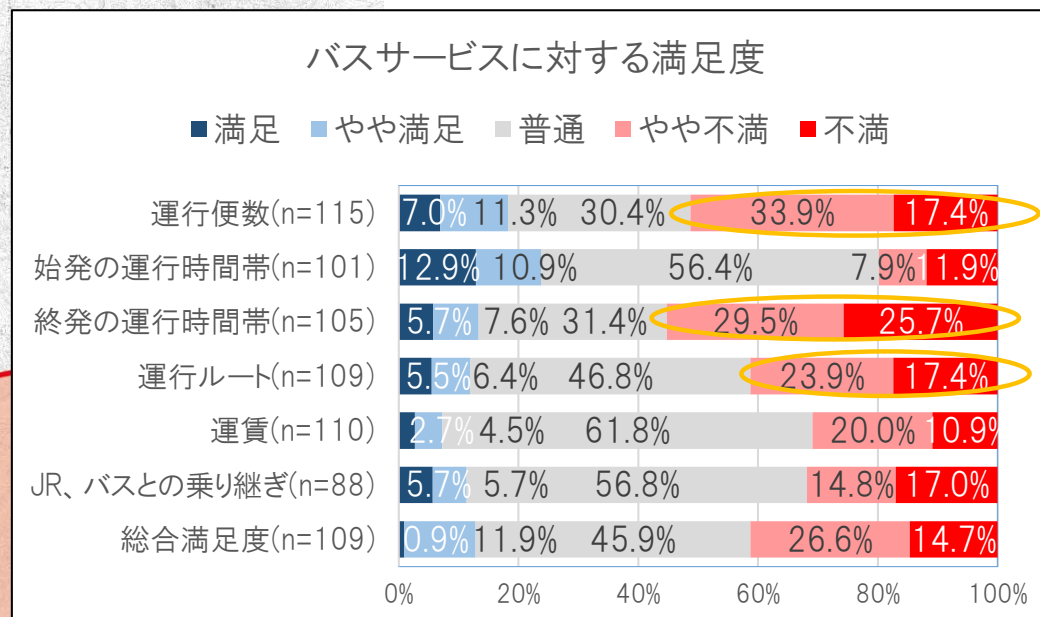
7. 地区別分析-幌向・上幌向地区

- ◆幌向・上幌向地区では、『運行便数』『運行ルート』に不満を持っている。また、帰宅手段の選択では『帰宅時のバスの運行頻度』が影響を与えている。
- ◆帰宅時のバスの運行状況が改善された場合、バスの利用頻度が高まることが予想される。



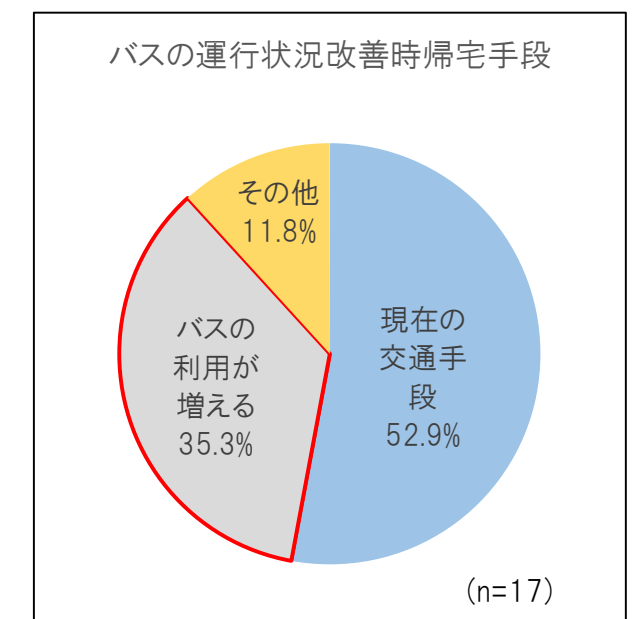
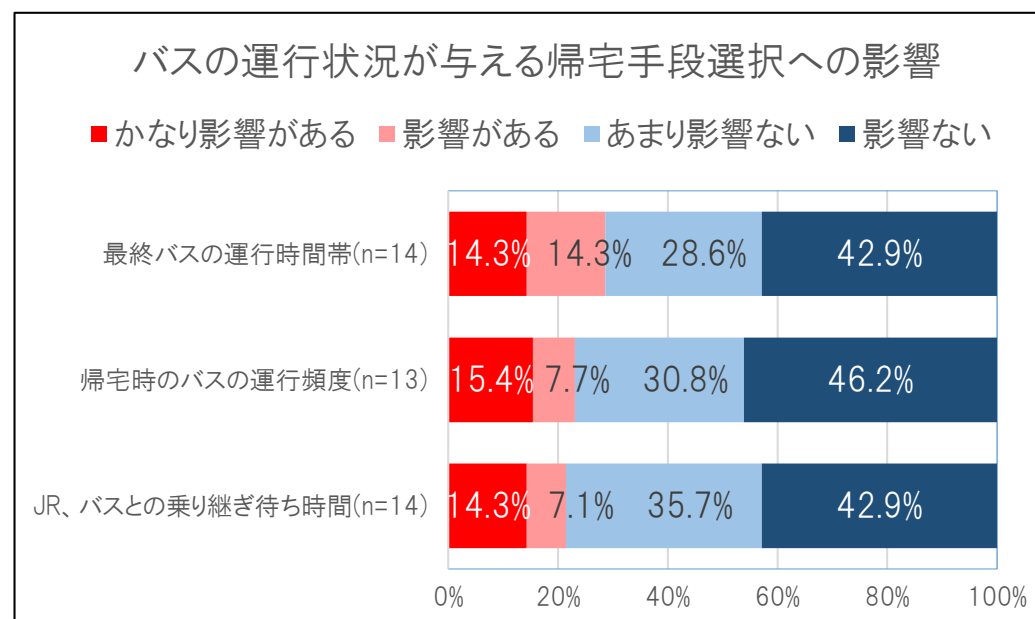
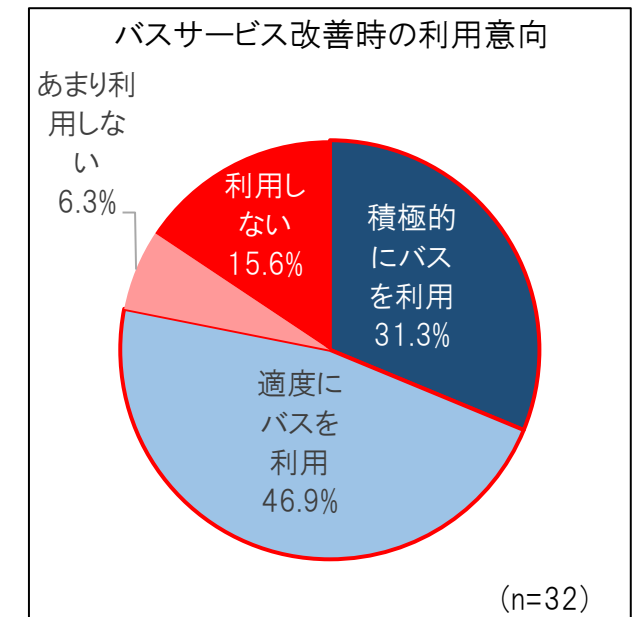
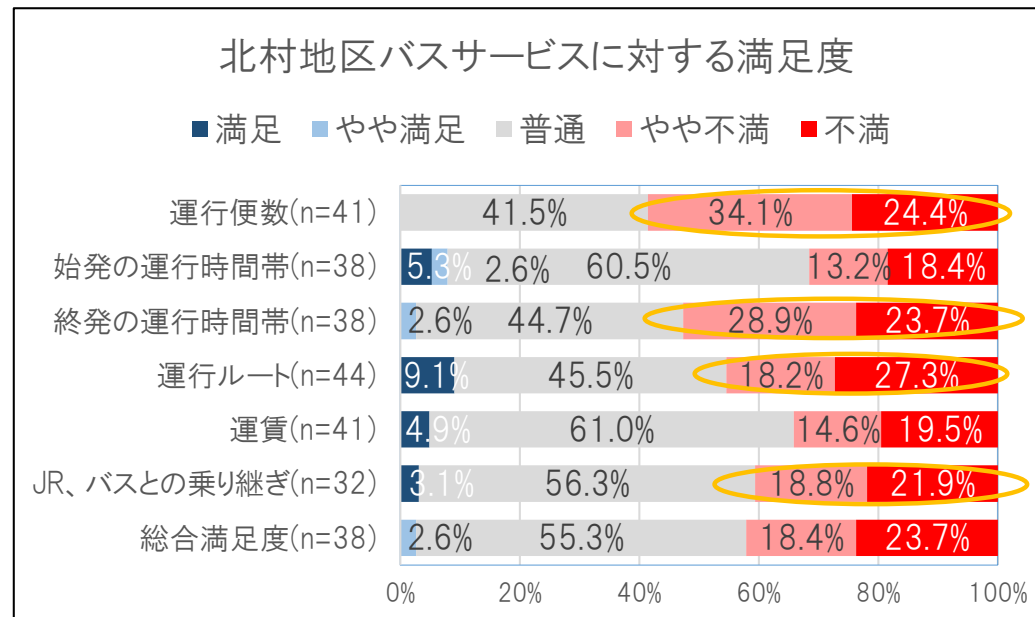
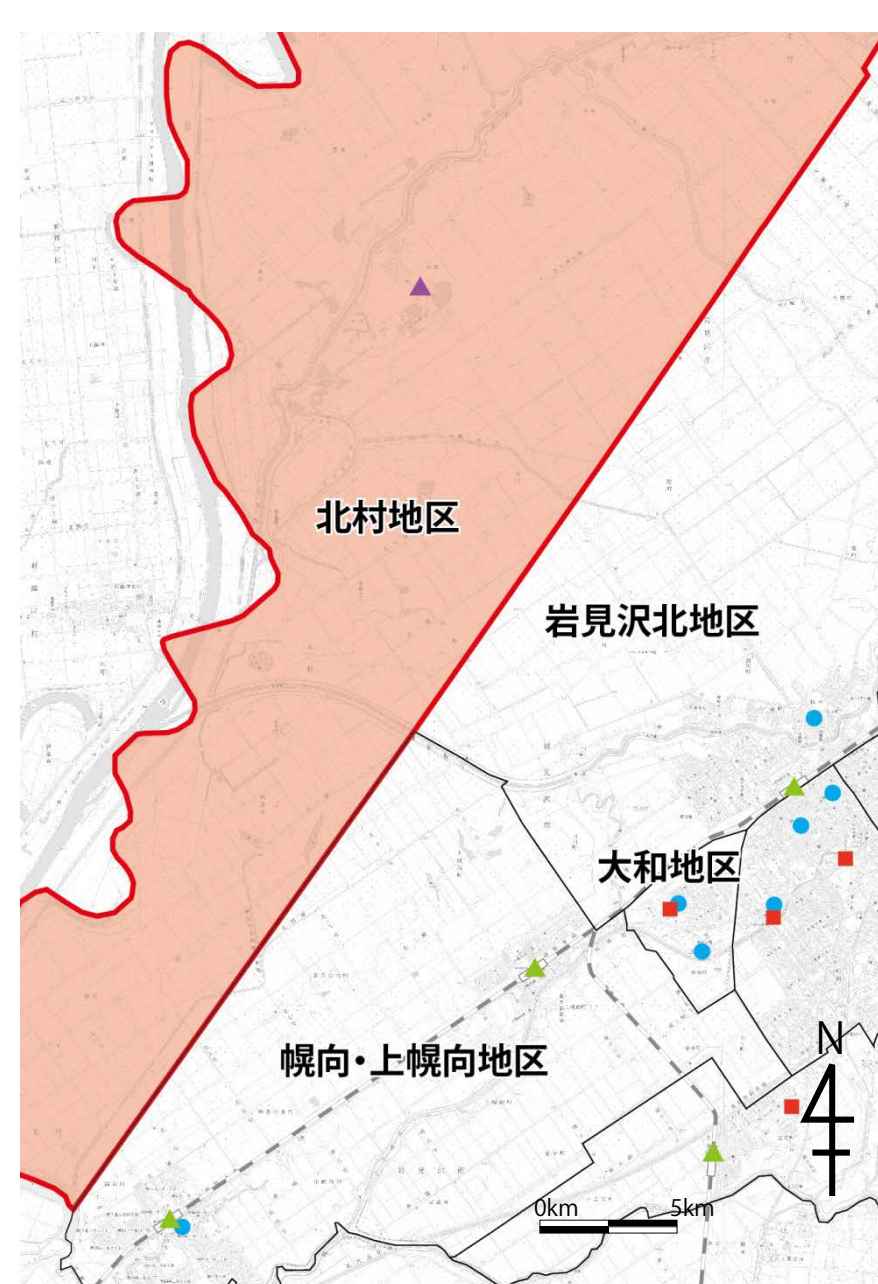
7. 地区別分析-志文・朝日町地区

- ◆志文・朝日町地区では『運行便数』『終発の運行時間帯』で不満が高く、『最終バスの運行時間帯』『帰宅時のバスの運行頻度』が帰宅手段の選択に影響を与えている。
- ◆バスサービス、運行状況が改善された場合、バスの利用頻度は高まることが予想される。



7. 地区別分析-北村地区

- ◆北村地区では『運行便数』『終発の運行時間帯』『運行ルート』で不満が高くなっている。
- ◆バスサービスが改善された場合、利用頻度は高まることが予想されるが、他地区と比較すると利用頻度は低くなることを予想される。



7. 地区別分析-栗沢地区

- ◆栗沢地区では『運行便数』『運行ルート』『運賃』『JR、バスとの乗り継ぎ』で不満が高く、帰宅手段の選択は『最終バスの運行時間帯』『帰宅時のバスの運行頻度』が影響を与えている。
- ◆上記項目が改善された場合、バスの利用頻度が高まることが予想される。

